

令和 3 年度

学習シラバス

国語	2 ページ
地理歴史・公民	1 2 ページ
数学	2 2 ページ
理科	2 7 ページ
保健体育	3 9 ページ
芸術	4 5 ページ
外国語	4 9 ページ
家庭	5 7 ページ
情報	6 0 ページ

栃木県立黒磯高等学校

国語科「国語総合（現代文）」学習シラバス

（１年２単位）

1. この科目の目標は・・・

現代文では、随想、小説、評論、韻文といったジャンルごとの文章の特徴を知り、読解法を身につけていきます。また、自分の考えを相手に適格に伝えるための表現力も養います。読解力や表現力の向上のためには語彙力アップが必要です。

2. 使用する教材について

- ①教科書 『新 探求国語総合 現代文・表現編』（桐原書店）
- ②補助教材 『新訂 総合国語便覧』（第一学習社）
『読解を深める 現代文単語 評論・小説』（桐原書店）
『生きる 漢字・語彙力 増補改訂版』（駿台文庫）
『SPEED 攻略 10日間国語文学史』（Z会） 他
- ③週末課題 『力をつける現代文ステップ1』（数研出版）他

3. 一年間の授業の流れ（学習計画）

	学習内容	教科書の該当範囲
1 学期	・小説では、情景表現・心情表現を的確に理解して作品を鑑賞する。 ・評論では、対比・因果等の論理構造を把握して、筆者の主張を的確に読み取る。 ・随想に描かれる作者のものの見方や感じ方を感じ取る。 ・詩について、それぞれの形式やリズム、表現方法に注意して読む。	1 随筆 1 2 小説 1 3 評論 1 評論解析 A 4 詩
2 学期	・登場人物の心情変化に注意しながら小説を読み味わう。 ・評論では接続語や指示語に注意しながら論理をおさえる。 ・筆者の体験談・見聞と筆者の考えとの相関を理解する。	5 評論 2 6 小説 2 7 随想 2 8 評論 3 評論解析 B
3 学期	・文章の構成や展開を確かめて評論を読み、ものの見方、考え方を豊かにする。 ・話の展開に注意して小説を読み、登場人物の感じ方や生き方について考える。 ・短歌や俳句の形式を学び、読み味わう。	9 短歌と俳句 10 評論 4 11 小説 3 12 評論 5

4. 勉強の進め方 ～学力 UP のためのアドバイス～

- ・授業を重視し予習→授業→復習のサイクルを実践しよう。
- ・随筆、評論、小説のジャンルごとの特徴を知り読解法を身につけよう。
- ・文章の構造や構成を学び、表現力を向上させよう。
- ・漢字や現代文単語をしっかりと覚えて、語彙力を増やそう。

5. これで評価します

- ・授業態度（主体性・共働性）、ノートや課題の提出状況、各種テストの成績

国語科「国語総合（古典）」学習シラバス

（1年3単位）

1. この科目の目標は・・・

古典を理解するために必要な文法や句法を理解し、単語の知識を身につける。さらに、古典常識（当時の歴史的な背景、生活様式、思想等）を知り、古典を楽しく読み味わえるようになることです。

2. 使用する教材について

- ①教科書 『新 探求国語総合』（桐原書店）
- ②補助教材 『体系古典文法 八訂版』（数研出版）
『必携 新明説漢文』（尚文出版）
『重要古文単語 315』（桐原書店）
『SPEED 攻略 10日間国語文学史』（Z会）他
- ③週末課題 『力をつける古典ステップ1』（数研出版）他

3・1年間の授業の流れ（学習計画）

	学習内容	教科書の該当範囲
1 学期	古文 ・歴史的仮名遣い ・用言（動詞・形容詞・形容動詞） ・説話、随筆、日記の文学史、古典常識 漢文 ・漢語の構造、訓読のしかた ・書き下し文の決まり、置字 ・再読文字、返読文字、漢文特有の構造	1 古文入門（古文） 1 漢文入門（漢文） 2 随筆と日記（古文）
2 学期	古文 ・助動詞、助詞、敬語 ・軍記物語の文学史 漢文 ・漢詩の形式（押韻・対句）	2 史伝（漢文） 3 物語と軍記（古文） 3 詩文（漢文）
3 学期	古文 ・和歌の修辞 漢文 ・句法 ・儒教（孔子）の文学史	4 和歌と俳諧（古文） 4 思想（漢文）

4. 勉強の進め方 ～学力 UP のためのアドバイス～

- ・授業を重視し、予習→授業→復習のサイクルを実践する。
- ・古文単語、漢文単語をしっかりと覚えて、語彙力を増やす。
- ・古典文法、漢文句法を正しく理解する。
- ・文学史や古典常識の知識を深めよう。それにより作品を深く読み味わえる。

5. これで評価します！

授業態度、定期・課題・実力テスト、提出物、小テストを総合して判断します。

国語科『現代文 B』学習シラバス（2 年文型 3 単位）

1 この科目の目標は……近代以降のさまざまな文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し読書することによって人生を豊かにする態度を養う。

2 使用する教材……①教科書：『新探求現代文 B』（桐原書店）

②補助教材：『新訂総合国語便覧』（第一学習者）、「読解を深める現代文単語」（桐原書店）

③問題集：『生きる漢字・語彙力』（駿台文庫）、『力をつける現代文 2』（数研出版）

3 1 年間の授業の流れ（学習計画）

学期	学 習 内 容	教科書の該当範囲
1	1 随想□随想の読み方を習得する。筆者のものの見方・考え方を理解して、自己のあり方や生き方について考えを深める。	自己とは何か
	2 評論 I □評論の基本的な読み方を習得する。 □抽象度の高いテーマについて理解を深め、ものの捉え方、考え方のヒントを得る。	読む いのちは誰のものか？
	3 小説 I □小説の読み方を習得する。登場人物の行動や心理を的確に捉える。文章表現の魅力を味わい、小説の虚構性をとおして、人間とは何かについて考える。	山月記
	◇評論解析 A □評論を読むための方法論を確認し、総合的な観点から評論を読み解く実践練習を行う。 □身近な話題に関する新しい知見を得る。	科学と市民／集落の創造 「もどかしさ」の融合等
2	4 評論 II □二項対立の論理構造を把握し、異文化理解とコミュニケーションのあり方について自らの問題として考える。	イスラム感覚
	5 詩□詩の基本的な読み方を習得する。 □音読を通して、詩のリズムやイメージを味わう。	猫／永訣の朝 等
	6 評論 III □自然科学をテーマにした評論を読んで、幅広い視野から現代の問題を自分の問題として考える。	科学者とは何か
	7 小説 II □作品に描かれた状況・人物・心情を的確に捉え、人間の存在について考えを深める。「事実」を理性的に描き出していく文章表現の魅力を味わう。	靴の話
	8 評論 IV □キーワードの意味を正確に捉え、筆者の見解を理解する。 □現代社会における課題について、幅広い視野から問い直し、自分の生活について考えを深める。	動物の信号と人間の言語 ファッションの遊戯性
3	9 小説 III □まとまった分量のある小説を読んで、場面の展開や登場人物の心理の変化を捉える。主題の把握を通して、人間に対する考えや人生への関心を深める。	こころ
	10 評論 V □長文の評論を読んで、そこに提示された社会についての的確に理解する。 □日本の近代化の問題点を現代の課題として捉え直す。	「である」ことと「する」こと

4 勉強の進め方 ～学力 UP のためのアドバイス～

- ・授業を大切にし、予習（通読して概要を把握、漢字の読み・語句の意味などを確認）して臨む。
- ・キーワードやキーセンテンスに印を付けながら読み、文章展開を意識して、筆者の考えの要約をする。
- ・自分の思いや考察を積極的に表現する。他者（読み手・聞き手）を意識して、文字や字数などにも注意する。
- ・普段から本や新聞を読み、見識を広げよう！

5 ここで評価します！

- ・予習状況、授業態度（発問に対する応答）、課題（主に問題集、感想文や作文を含む）の提出状況、定期考査など

国語科『古典 B』学習シラバス（2年3単位）

1 この科目の目標は・・・

古典の世界に親しみ、日本の言語や文化の根源に触れる。

2 使用する教材について

- ① 教科書 「新探求古典 B 古文編・漢文編」（桐原書店）
- ② 補助教材 「体系古典文法 八訂版」（数研出版）・「必携新明説漢文」（尚文出版）

3 1年間の授業の流れ（学習計画）

	学習内容	教科書の該当範囲
1 学期	説話について概要を理解する 随筆から状況を想像し理解する 話の大まかな筋を読み取る 歴史的意義を確認する	【古文編】説話（宇治拾遺物語など） 【古文編】随筆Ⅰ（方丈記・徒然草） 【漢文編】故事・寓話（十八史略・列子） 【漢文編】史伝Ⅰ（三国志：赤壁の戦い）
2 学期	女流文学への関心を持ち、文学背景となる平安世界を知り、作者の感覚を理解する 「物語」の流れとそれぞれの特徴を理解する 近体詩との違いを確認する 作品を読み取り主人公の行動を想像する 駢儷文の持つ表現の華麗さを味わう	【古文編】物語と日記（更科日記など） 【古文編】随筆Ⅱ（枕草子） 【古文編】歴史と軍記（大鏡） 【漢文編】詩（古体詩） 【漢文編】史伝Ⅱ（史記：鴻門之会） 【漢文編】文章（春夜宴桃李園序など）
3 学期	敬語に習熟する 儒家の思想の流れについて理解する 修辞法・「韻文」の流れ、文芸理念を理解する	【古文編】物語（源氏物語） 【漢文編】思想（孟子・荀子） 【古文編】和歌と俳諧

4 勉強の進め方 ～学力 UP のためのアドバイス～

- 予習・復習を必ず行うこと。『体系古典文法』を参考に、自分の頭を使って読解をしていこう。
- 便覧を利用して、古典世界への理解を深め、興味関心を高めよう。
- 問題演習を通して、基本知識の定着を図り、文脈把握力を養おう。

5 ここで評価します！

- 授業態度（予習復習の状況含む） 主体的・積極的・協働的に取り組んでいるか？
- テスト（定期試験・課題実力テストの他、古文単語テストなどを含む）の成績
- 提出物（問題集・ノートなど） 期限を守って提出できるか？ 洩れなく取り組めているか？

以上のものから、総合的に判断する。

国語科『現代文 B』学習シラバス（2 年理型 2 単位）

1 この科目の目標は……近代以降のさまざまな文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し読書することによって人生を豊かにする態度を養う。

2 使用する教材……①教科書：『新探求現代文 B』（桐原書店）

②補助教材：『新訂総合国語便覧』（第一学習者）、「読解を深める現代文単語」（桐原書店）

③問題集：『生きる漢字・語彙力』（駿台文庫）、『力をつける現代文 2』（数研出版）

3 1 年間の授業の流れ（学習計画）

学期	学 習 内 容	教科書の該当範囲
1	1 随想□随想の読み方を習得する。筆者のものの見方・考え方を理解して、自己のあり方や生き方について考えを深める。	自己とは何か
	2 評論 I □評論の基本的な読み方を習得する。 □抽象度の高いテーマについて理解を深め、ものの捉え方、考え方のヒントを得る。	読む いのちは誰のものか？
	3 小説 I □小説の読み方を習得する。登場人物の行動や心理を的確に捉える。文章表現の魅力を味わい、小説の虚構性をとおして、人間とは何かについて考える。	山月記
	◇評論解析 A □評論を読むための方法論を確認し、総合的な観点から評論を読み解く実践練習を行う。 □身近な話題に関する新しい知見を得る。	科学と市民／集落の創造 「もどかしさ」の融合等
2	4 評論 II □二項対立の論理構造を把握し、異文化理解とコミュニケーションのあり方について自らの問題として考える。	イスラム感覚
	5 詩□詩の基本的な読み方を習得する。 □音読を通して、詩のリズムやイメージを味わう。	猫／永訣の朝 等
	6 評論 III □自然科学をテーマにした評論を読んで、幅広い視野から現代の問題を自分の問題として考える。	科学者とは何か
	7 小説 II □作品に描かれた状況・人物・心情を的確に捉え、人間の存在について考えを深める。「事実」を理性的に描き出していく文章表現の魅力を味わう。	靴の話
	8 評論 IV □キーワードの意味を正確に捉え、筆者の見解を理解する。 □現代社会における課題について、幅広い視野から問い直し、自分の生活について考えを深める。	動物の信号と人間の言語 ファッションの遊戯性
3	9 小説 III □まとまった分量のある小説を読んで、場面の展開や登場人物の心理の変化を捉える。主題の把握を通して、人間に対する考えや人生への関心を深める。	こころ
	10 評論 V □長文の評論を読んで、そこに提示された社会についての的確に理解する。 □日本の近代化の問題点を現代の課題として捉え直す。	「である」ことと「する」こと

4 勉強の進め方 ～学力 UP のためのアドバイス～

- ・授業を大切にし、予習（通読して概要を把握、漢字の読み・語句の意味などを確認）して臨む。
- ・キーワードやキーセンテンスに印を付けながら読み、文章展開を意識して、筆者の考えの要約をする。
- ・自分の思いや考察を積極的に表現する。他者（読み手・聞き手）を意識して、文字や字数などにも注意する。
- ・普段から本や新聞を読み、見識を広げよう！

5 ここで評価します！

- ・予習状況、授業態度（発問に対する応答）、課題（主に問題集、感想文や作文を含む）の提出状況、定期考査など

R 3 国語科 『現代文B』 学習シラバス

(3年文系 3単位)

1・この科目を学習する目標は・・・

「近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語力の向上を図り人生を豊かにする態度を身に着けること」

2・使用する教材について

- ①教科書 桐原書店「新探求現代文B」
- ②補助教材：『新訂総合国語便覧』（第一学習者）、「読解を深める現代文単語」（桐原書店）
- ③問題集：『生きる漢字・語彙力』（駿台文庫）、『力をつける現代文 ステップ2』（数研出版）

3・1年間の授業の流れ（学習計画）

	学習内容	教科書の該当範囲
1 学期	1 評論Ⅰ 評論文の読み方を確認する。 筆者のものの見方・考え方を通して、芸術・文化への考えを深める 2 小説Ⅰ 小説の読み方を確認する。 文章に込められた寓意や小説の意義について考えを深める 3 随想 「生きる力」をテーマにした文章を読み、他者との関係とその中で生きていく自身について考えを深める。 4 評論Ⅲ 文章の構成を把握するとともに、文章における解釈と普遍性について考える。	オブジェとイマージュ 檸檬 沙魚 詩人のふるさと
2 学期	5 小説Ⅱ 人物の変化に注目して作者の描く小説世界を読み解くとともに、解釈の幅を広げ、小説の広がりについて理解を深める。 6 共通テスト対策演習	アノマロカリス
3 学期	共通テスト対策演習	

4・勉強の進め方 ～学力UPのためのアドバイス～

- ・授業を重視し、予習（通読しておおまかな内容をつかむ、漢字の読み書き、語句の意味を辞書で下調べする）して臨む。
- ・自分の考えを実際に書く課題には、字数や文字に気をつけて、気取らずに現在の自分の思いや考察を積極的に表す。
- ・普段から本や新聞を読む機会を多くもつ。
- ・漢字テストをはじめ、小テストに対して毎回真剣に取り組む。
- ・常に辞書を引く習慣をつける。

5・ここで評価します！

- ・予習状況、授業態度、発問に対する応答、指名読みの読み方、課題・感想文・作文の提出状況、定期考査の成績

R 3(2021) 国語科『古典 B』学習シラバス

(3年文型3単位)

1 この科目の目標は・・・

古典の世界に親しみ、日本や古代中国の言語や文化の根源に触れる。

文法・句法・語彙の知識を身に付け、古典作品を正しく読み、鑑賞する

2 使用する教材について

- ① 教科書 「新探求古典 B 古文編・漢文編」(桐原書店)
- ② 補助教材 「体系古典文法」(数研出版)・新明説漢文(尚文出版)
- ③ 問題集 「力をつける古典 2.5」(数研出版)

3 1年間の授業の流れ(学習計画)

	学習内容	教科書の該当範囲
1 学期	古文編 語句・文法の理解を深める 随筆や日記文学の特徴を学び、読み味わう 助詞、敬語、古文常識を学ぶ 漢文編 文章のおもしろさを味わう 漢文句法や和漢異義語を学ぶ	枕草子 蜻蛉日記 三横 補蛇者説 売柑者言
2 学期	古文編 物語の特徴を学び、読み味わう 大学入学共通テスト対策演習	源氏物語
3 学期	大学入学共通テスト対策演習	

4 勉強の進め方 ～学力 UP のためのアドバイス～

予習・復習を必ず行うこと。『体系古典文法』を参考に、自分の頭を使って読解をしていこう。

『新訂総合国語便覧』を利用し、古典世界への理解を深め、興味関心を高めよう。

問題演習を通して、基本知識の定着を図り、文脈把握力を養おう。

5 ここで評価します！

授業態度、考查成績、提出物(期限・内容)、単語テストを総合して判断します。

R 3 (2021) 国語科『古典 A』学習シラバス

(3年文型 3単位)

1 この科目の目標は・・・

古典を読む能力を養うとともに、我が国の伝統と文化に対する理解を深める。

当時の人々は何を感じ、何を見ていたのか。どのような生活をし、どのような人生を送っていたのか、などなど。

現代では考えられないような面白い世界に触れることで、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。

2 使用する教材について

- ① 教科書高等学校 古典 A (第一学習社)
- ② 補助教材 体系古典文法 八訂版 (数研出版) など

3 1年間の授業の流れ(学習計画)

	学習内容	教科書の該当範囲
1 学期	有名な作品に触れる。 構成や展開を把握し、登場人物の行動・心情を 読み取る。	源氏物語
2 学期	和歌に込められた心情を読み取る。	源氏物語
3 学期	構成や展開を把握し、登場人物の行動・心情を 読み取る。	源氏物語

4 学習の仕方 ～学力 UP のためのアドバイス～

- 〔予 習〕 教科書本文を音読し、音の流れに慣れる。
- 〔授 業〕 意味を問われた箇所だけでなく、全体に目を向け、登場人物の心情を汲み取ろう。
- 〔復 習〕 現代語訳や文法事項の確認をする。(日常と古典の世界を結びつけよう)
- 〔テスト〕 定期テスト：日々の学習の積み重ねの成果である。

5 評価

定期テスト、授業への取り組み方などから評価する。

R 3 (2021) 国語科『現代文B』学習シラバス

(3年理系 2単位)

1 この科目を学習する目標は・・・

「近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語力の向上を図り人生を豊かにする態度を身に着けること」

2 使用する教材について

①教科書 桐原書店「新探求現代文B」

②補助教材：『新訂総合国語便覧』（第一学習者）、「読解を深める現代文単語」（桐原書店）

③問題集：『生きる漢字・語彙力』（駿台文庫）、『論読現代文3』（浜島書店）

3 1年間の授業の流れ（学習計画）

	学習内容	教科書の該当範囲
1 学期	評論解析B 見解の根拠をつかむ 主要な見解をつかむ 対比構造に着目する 具体例の動きをつかむ 1 評論Ⅰ 評論文の読み方を確認する。 筆者のものの見方・考え方を通して、芸術・文化への考えを深める 2 小説Ⅰ 小説の読み方を確認する。 文章に込められた寓意や小説の意義について考えを深める。	「物語」としての伝統 「資本」の出現 博物館というメディア 現実・相貌・物語 オブジェとイマージュ 言葉の〈意味〉と〈表徴〉 檸檬 愛のサーカス
2 学期	5 小説Ⅱ 人物の変化に注目して作者の描く小説世界を読み解くとともに、解釈の幅を広げ、小説の広がりについて理解を深める。 6 共通テスト対策演習	畜犬談 アノマロカリス
3 学期	共通テスト対策演習	

4 勉強の進め方 ～学力UPのためのアドバイス～

授業を重視し、予習（通読しておおまかな内容をつかむ、漢字の読み書き、語句の意味を辞書で下調べする）して臨む。

自分の考えを実際に書く課題には、字数や文字に気をつけて、気取らずに現在の自分の思いや考察を積極的に表す。

普段から本や新聞を読む機会を多くもつ。

漢字テストをはじめ、小テストに対して毎回真剣に取り組む。

常に辞書を引く習慣をつける。

5 ここで評価します！

予習状況、授業態度、発問に対する応答、指名読みの読み方、課題・感想文・作文の提出状況、定期考査の成績

R 3(2021) 国語科『古典 B』学習シラバス

(3年 理系2単位)

1・この科目の目標は・・・

古典の世界に親しみ、日本の言語や文化の根源に触れる。

2・使用する教材について

- ① 教科書 「新探求古典 B 古文編・漢文編」(桐原書店)
- ② 補助教材 「体系古典文法」(数研出版)・新明説漢文(尚文出版)

3・1年間の授業の流れ(学習計画)

	学習内容	教科書の該当範囲
1 学期	古文編 語句・文法の理解を深める 随筆や日記文学の特徴を学び、読み味わう 助詞、敬語、古文常識を学ぶ 漢文編 文章のおもしろさを味わう	古今著聞集 蜻蛉日記 孔明臥竜 魚父の辞
2 学期	古文編 物語の特徴を学び、読み味わう 大学入学共通テスト対策演習	源氏物語
3 学期	大学入学共通テスト対策演習	

4・勉強の進め方 ～学力 UP のためのアドバイス～

予習・復習を必ず行うこと。『体系古典文法』を参考に、自分の頭を使って読解をしていこう。

『新訂総合国語便覧』を利用し、古典世界への理解を深め、興味関心を高めよう。

問題演習を通して、基本知識の定着を図り、文脈把握力を養おう。

5・ここで評価します！

授業態度、考查成績、提出物(期限・内容)、単語テストを総合して判断します。

R3 公民科『現代社会』学習シラバス

(1年 2単位)

1 この科目の目標は

- ・現代社会について、経済や文化などの社会的事象を多様な角度からみつめ、自己とのかかわりに注目して、いかに生きるかを主体的に考察する。
- ・新聞や統計などを活用し、客観的かつ公正なものを見方や考え方を身につけ、現代の社会的事象を適切に表現する。
- ・現代社会の様々な社会的事象を多様な角度から考察し、相互の関連性をふまえ、総合的に理解する。

2 使用する教材について

教科書 高等学校新現代社会（第一学習社）

補助教材 本質が見えてくる最新現代社会資料集2021（第一学習社）、現代社会ノート（第一学習社）

3 1年間の授業の流れ（学習計画）

	学習内容	教科書の該当範囲
1 学期	私たちの生きる社会 現代社会と人間としての在り方生き方	地球環境問題～高度情報化社会と私たちの生活 (p5～p35) 青年期の意義と自己形成の課題～伝統や文化と 私たちの生活 (p36～p49)
2 学期	現代の民主政治と政治参加の意義 現代の経済社会と経済活動の在り方	民主政治における個人と国家～世論と政治参加 (p50～p115) 経済社会と経済体制～経済成長と景気変動 (p146～p176)
3 学期	現代の経済社会と経済活動の在り方	産業構造の変化～社会保障と国民福祉 (p177～p201)

4 勉強の進め方 ～学力UPのためのアドバイス～

- ・授業が全ての基礎・基本となる。1時間1時間集中して授業を受けること。また、疑問点はすぐに質問し、疑問を解消するようにつとめること。
- ・授業後は知識を整理し、資料集や問題集などを活用して重要語句の整理や現代社会の諸事象の把握に努めること。
- ・TVのニュースやドキュメンタリー、新聞などを見て様々な経済問題や国際問題に興味・関心をもち社会的事象を理解するとこと。時事問題に詳しくなると、より授業の理解度が深まる。

5 ここで評価します！

- ・中間テスト、期末テスト、学年末テスト、課題テストなどの結果に加え、提出された課題や授業中の様子など総合的に判断して評価する。関心・意欲・態度、思考・判断、資料活用の技能など、多方面から現代社会の力をみる。

R 3 (2021)年度 地理・歴史科『世界史A』学習シラバス

(2年 2単位)

1 目標

- ・世界の歴史特に近現代史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に学習する。
- ・各時代・各分野から主題を設定し、主体的な学習により歴史的思考力を身につけて、歴史事象を多面的に考察する。
- ・世界の歴史についての地図・写真等の資料を活用し、様々な事柄を地理的条件・日本の歴史・現代社会と関連づけて表現する。
- ・世界の歴史についての基本的な事柄を、地理的条件・日本の歴史・現代社会と関連づけて身に付ける。

2 使用する教材

- ① 教科書 世界史A (実教出版) 標準高等地図 (帝国書院)

3 1年間の授業の流れ (学習計画)

	学習内容	教科書の該当範囲
1 学期	第IV部 地球社会と日本 第6章 二つの大戦	第1節～第4節(P.146-173)
2 学期	第6章 (続き) 第7章 第二次世界大戦後の世界	第5節(P.173-187) 第1節～第3節(P.188-205)
3 学期	第8章 現代の世界 終章 持続可能な世界をめざして	第1節～第5節(P.206-215) 第1節～第4節(p.216-227)

4 勉強の進め方 ～学力UPのためのアドバイス～

- ・授業が全ての基礎・基本となる。1時間1時間集中して授業を受けること。また、疑問点はすぐに質問し、疑問を解消するようにつとめること。
- ・授業後は知識の整理に努め、歴史の流れや重要語句の確認を怠らないこと。
- ・TVのニュースやドキュメンタリー、新聞、映画などを見て様々な国際社会における諸問題の歴史的背景を探ると、授業内容がさらに深まり時事問題にも詳しくなり、より授業の理解度が深まる。
- ・主体的・自主的な学習をするとともに、教科担当の先生に積極的にアドバイスをもらい、広い視野で学習を進めていくこと。

5 評価

- ・期末テスト、学年末テストなどの結果に加え、提出された課題や授業中の様子など総合的に判断して評価する。
- ・「関心・意欲・態度」「思考・判断」「資料活用 of 技能・表現」「知識・理解」など、多方面から世界史の力をみる。

R3 『地理A』 学習シラバス

(2年 2単位)

1 目標

- ・現代世界に対する関心と課題意識を高め、意欲的に地理を学習する。
- ・現代世界の諸事象や諸地域を多面的・多角的に考察し、系統地理的・地誌的に考察する方法を身につける。
- ・地球儀や地図、統計、画像資料などを活用し、世界の地理的事象や生活圏の地域的特色をとらえる技能を身につけ、表現する。
- ・現代世界についての地理的な認識を、地理的な見方だけでなく、歴史的な背景や国際社会と関連づけて理解する。

2 使用する教材について

- ① 教科書 高校生の地理A (東京書籍)
新詳高等地図 (帝国書院)
- ② 補助教材 世界の諸地域NOW 2021 (帝国書院)

3 1年間の授業の流れ (学習計画)

	学習内容	教科書の該当範囲
1 学期	第1編「現代世界の特徴と動向」 1章 地球儀や地図からとらえる世界 2章 結びつく現代世界	地球儀と世界地図 日本の位置と領域 生活の舞台としての地形 (p.8-p.37)
2 学期	第2編「世界の生活・文化の多様性」 1章 世界的視野から見た自然環境と文化 2章 諸地域の生活と文化	生活の舞台としての気候 (p.38-p.51) 東アジアの生活・文化～ロシアの生活・文化 (p.66-p.109)
3 学期	第3編「深刻化する地球的課題とその解決策」 1章 地図で読み解く地球的課題 2章 様々な地球的課題	資源・エネルギー問題 人口問題 食料問題 都市問題 環境問題 (p.132-p.153)

4

勉強の進め方

- ・授業が全ての基礎・基本となる。1時間1時間集中して授業を受けること。また、疑問点はすぐに質問し、疑問を解消するようにつとめること。
- ・授業後は知識の整理に努め、地図帳や問題集などを活用して重要語句や重要地名の確認を怠らないこと。
- ・TVのニュースやドキュメンタリー、新聞などを見て様々な経済問題や国際問題に興味・関心をもち現代世界を理解すること。時事問題に詳しくなると、より授業の理解度が深まる。
- ・主体的・自主的な学習をするとともに、教科担当の先生に積極的にアドバイスをもらい、広い視野で学習を進めていくこと。

5 評価

- ・期末テスト、学年末テストの結果に加え、提出された課題や授業中の様子など総合的に判断して評価する。関心・意欲・態度、思考・判断、資料活用の技能・表現、知識・理解など、多方面から力をみる。

R3 地理・歴史科『世界史B』学習シラバス

(2年 4単位)

1 この科目の目標は・・・

- ・世界史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に学習する。
- ・世界史で学ぶ諸事象や諸地域を多面的・多角的に考察し、系統的・地誌的に考察する方法を身につける。
- ・諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させる。
- ・現代世界についての歴史的な認識を、歴史的な見方だけでなく、地理的な背景や国際社会と関連づけて理解する。

2 使用する教材について

教科書 世界史B (東京書籍)

補助教材 グローバルワイド 最新世界史図表 (第一学習社)

3 1年間の授業の流れ (学習計画)

	学習内容	教科書の該当範囲
1 学期	第1編 様々な地域世界	文明以前の人類～古アメリカ世界 (p22～ p 108)
2 学期	第2編 結びあう地域世界	イスラーム世界の形成～東アジア世界の変容と モンゴル帝国 (p112～ p 176)
3 学期	第3編 一体化する世界	海域世界の発展～大交易時代 (p180～ p 225)

4 勉強の進め方 ～学力UPのためのアドバイス～

- ・授業が全ての基礎・基本となる。1時間1時間集中して授業を受けること。また、疑問点はすぐに質問し、疑問を解消するようにつとめること。
- ・授業後は知識の整理に努め、地図帳や問題集などを活用して重要語句の確認を怠らないこと。
- ・TVのニュースやドキュメンタリー、映画やドラマなどを見て世界史に興味・関心をもち現代世界を理解すること。
- ・主体的・自主的な学習をするとともに、教科担当の先生に積極的にアドバイスをもらい、広い視野で学習を進めていくこと。

5 ここで評価します！

- ・中間テスト、期末テスト、学年末テスト、校内模試、課題テストなどの結果に加え、提出された課題や授業中の様子など総合的に判断して評価する。関心・意欲・態度、思考・判断、資料活用の技能・表現、知識・理解など、多方面から地理の力をみる。

R 3 (2021) 地理・歴史科『日本史B』学習シラバス

(2年 4単位)

1 この科目の目標は・・・

- ・日本の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に学習する。
- ・各時代・各分野から主題を設定し、主体的な学習により歴史的思考力を身につけて、歴史事象を多面的に考察する。
- ・日本の歴史についての諸資料を活用し、様々な事柄を地理的条件・地理の歴史・現代社会と関連づけて表現する。
- ・日本の歴史についての基本的な事柄を、地理的条件・世界の歴史・現代社会と関連づけて身に付ける。

2 使用する教材について

- ① 教科書 詳説日本史B (山川出版)
- ② 補助教材 最新日本史図表 (第一学習社)
- ③ 問題集 日本史重要語句チェックリスト (啓隆社)

3 1年間の授業の流れ (学習計画)

	学習内容	教科書の該当範囲
1 学期	先縄文時代・縄文時代・弥生時代・古墳時代・ 飛鳥時代・奈良時代・平安時代・鎌倉時代・	日本文化のあけぼの (P5～P19) 律令国家の形成 (P29～P51) 貴族政治と国風文化 (P60～P69) 中世社会の成立 (P79～P105)
2 学期	室町時代・安土桃山時代・江戸時代元禄時代)	武家社会の成長 (p114～P141) 幕藩体制の確立 (p147～P160) 幕藩体制の展開 (p179～192)
3 学期	江戸時代 (享保の改革)～明治維新	幕藩体制の動揺 (P197～P214) 近代国家の成立 (P227～P237)

4 勉強の進め方 ～学力UPのためのアドバイス～

- ・授業が全ての基礎・基本となる。1時間1時間集中して授業を受けること。また、疑問点はすぐに質問し、疑問を解消するようにつとめること。
- ・授業後は知識の整理に努め、資料集や問題集などを活用し、歴史の流れや重要語句の確認を怠らないこと。
- ・歴史番組や歴史小説などを見て歴史に対する興味関心を深める。
- ・主体的・自主的な学習をするとともに、教科担当の先生に積極的にアドバイスをもらい、広い視野で学習を進めていくこと。

5 ここで評価します！

- ・中間テスト、期末テスト、学年末テスト、校内実力テストなどの結果に加え、提出された課題や授業中の様子など総合的に判断して評価する。関心・意欲・態度、思考・判断、資料活用の技能・表現、知識・理解など、多方面から日本史の力をみる。

R 3 地理・歴史科『地理B』学習シラバス

(2年 2単位)

1 目標

- ・現代世界に対する関心と課題意識を高め、意欲的に地理を学習する。
- ・現代世界の諸事象や諸地域を多面的・多角的に考察し、系統地理的・地誌的に考察する方法を身につける。
- ・地球儀や地図、統計、画像資料などを活用し、世界の地理的事象や生活圏の地域的特色をとらえる技能を身につけ、表現する。
- ・現代世界についての地理的な認識を、地理的な見方だけでなく、歴史的な背景や国際社会と関連づけて理解する。

2 使用する教材

- ① 教科書 新詳地理B (帝国書院) 標準高等地図 (帝国書院)
- ② 補助教材 新編地理資料2021 (とうほう)
- ③ 問題集 地理10分間テスト (山川出版)

3 1年間の授業の流れ (学習計画)

	学習内容	教科書の該当範囲
1 学期	I さまざまな地図と地理的技能 II 現代世界の系統地理的考察 1 自然環境	地理情報と地図 地域調査 (p.5-26) 地形 気候 日本の自然 環境問題 (p.28-93)
2 学期	2 資源と産業	農林水産業 食糧問題 (p.94-119)
3 学期		エネルギー・鉱産資源 資源・エネルギー問題 工業 (p.120-152)

4 勉強の進め方 ～学力UPのためのアドバイス～

- ・授業が全ての基礎・基本となる。1時間1時間集中して授業を受けること。また、疑問点はすぐに質問し、疑問を解消するようにつとめること。
- ・授業後は知識の整理に努め、地図帳や問題集などを活用して重要語句や重要地名の確認を怠らないこと。
- ・TVのニュースやドキュメンタリー、新聞などを見て様々な経済問題や国際問題に興味・関心をもち現代世界を理解すること。時事問題に詳しくなると、より授業の理解度が深まる。
- ・主体的・自主的な学習をするとともに、教科担当の先生に積極的にアドバイスをもらい、広い視野で学習を進めていくこと。

5 評価

- ・中間テスト、期末テスト、学年末テスト等の結果に加え、提出された課題や授業中の様子など総合的に判断して評価する。関心・意欲・態度・思考・判断、資料活用の技能・表現、知識・理解など、多方面から地理の力をみる。

R3 『世界史B』学習シラバス

(3年 4単位)

1・この科目の目標は・・・

- ・世界史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に学習する。
- ・世界史で学ぶ諸事象や諸地域を多面的・多角的に考察し、系統的・地誌的に考察する方法を身につける。
- ・諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させる。
- ・現代世界についての歴史的な認識を、歴史的な見方だけでなく、地理的な背景や国際社会と関連づけて理解する。

2・使用する教材について

教科書 世界史B (東京書籍)

補助教材 グローバルワイド 新版三訂 最新世界史図表 (第一学習社)

3・1年間の授業の流れ(学習計画)

	学習内容	教科書の該当範囲
1 学期	ヨーロッパの拡大と大西洋世界／産業社会と国民国家の形成／世界史上の形成と日本	激化する経済覇権戦争～清の動揺と変貌する東アジア (252p～333p)
2 学期	二つの世界大戦と大衆社会の到来／米ソ冷戦と第三世界／グローバル化した世界と日本	第一次世界大戦～21世紀を生きる (334p～420p)
3 学期	センター試験対策 問題演習	教科書全範囲の問題演習

4・勉強の進め方 ～学力UPのためのアドバイス～

- ・授業が全ての基礎・基本となる。1時間1時間集中して授業を受けること。また、疑問点はすぐに質問し、疑問を解消するようにつとめること。
- ・授業後は知識の整理に努め、地図帳や問題集などを活用して重要語句の確認を怠らないこと。
- ・TVのニュースやドキュメンタリー、映画やドラマなどを見て世界史に興味・関心をもち現代世界を理解すること。
- ・主体的・自主的な学習をするとともに、教科担当の先生に積極的にアドバイスをもらい、広い視野で学習を進めていくこと。

5・ここで評価します！

- ・中間テスト、期末テスト、学年末テスト、校内模試、課題テストなどの結果に加え、提出された課題や授業中の様子など総合的に判断して評価する。関心・意欲・態度、思考・判断、資料活用の技能・表現、知識・理解など、多方面から地理の力をみる。

R 3 (2 0 2 1) 地理・歴史科『日本史 B』学習シラバス

(3 年 4 単位)

1 この科目の目標は・・・

- ・日本史の近現代史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に学習することができる。
- ・各時代・各分野から主題を設定し、主体的な学習により歴史的思考力を身につけて、歴史事象を多面的に考察する。
- ・日本の近現代史についての資料を活用し、様々な事柄を地理的条件・日本の歴史・現代社会と関連づけて表現することができる。
- ・日本の近現代史についての基本的な事柄を、地理的条件・世界の歴史・現代社会と関連づけて身に付ける。

2 使用する教材について

- ① 教科書 詳説日本史 B (山川出版社)
- ② 補助教材 最新日本史図表 (第一学習社)
- ③ 問題集 30 日完成スピードマスター日本史問題集 (山川出版社)

3 1 年間の授業の流れ (学習計画)

	学習内容	教科書の該当範囲
1 学期	開国と幕末の動乱～立憲国家の成立・日清戦争～日露戦争・第 1 次世界大戦～第 2 次世界大戦	近代国家の成立 (p250～286) 近代日本とアジア (p295～P315)
2 学期	占領と革命～冷戦の開始と講話・55 年体制・経済復興から高度成長へ・経済大国への道・冷戦終結と日本社会の動揺 大学入学共通テスト対策	占領下の日本 (p346～P356) 高度成長の時代 (P363～P369) 激動する世界と日本 (P376～P381)
3 学期	大学入学共通テスト対策 自由登校	

4 勉強の進め方 ～学力 UP のためのアドバイス～

- ・授業が全ての基礎・基本となる。1 時間 1 時間集中して授業を受けること。また、疑問点はすぐに質問し、疑問を解消するようにつとめること。
- ・授業後は知識の整理に努め、歴史の流れや重要語句の確認を怠らないこと。
- ・主体的・自主的な学習をするとともに、教科担当の先生に積極的にアドバイスをもらい、広い視野で学習を進めていくこと。

5 ここで評価します！

- ・中間テスト、期末テストなどの結果に加え、提出された課題や授業中の様子など総合的に判断して評価する。関心・意欲・態度、思考・判断、資料活用 of 技能・表現、知識・理解など、多方面から日本史の力をみる。

R 3 公民科『政治経済』学習シラバス

(3年 3単位)

1 目標

- ・様々な社会的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に学習する。
- ・政治経済に関連する社会的事象を多様な角度からみつめ、いかに生きるかを主体的に考察する。
- ・新聞や統計などを活用し、客観的かつ公正なものの見方や考え方を身につけ、現代の社会的事象を適切に表現する。
- ・現代社会の様々な社会的事象を政治経済の観点から考察し、相互に関連しあっていることに注目しながら、総合的に理解する。

2 使用する教材

教科書 高等学校政治・経済（第一学習社）

補助教材 最新図説政経（浜島書店）

3 1年間の授業の流れ（学習計画）

	学 習 内 容	教科書の該当範囲
1 学期	第1編 現代の経済	第1章 現代経済のしくみと特質(p.108-183)
2 学期	第2編 現代の政治	第1章 民主政治の基本原則と日本国憲法(p.5-p.83)
3 学期	大学共通テスト対策演習	

4 勉強の進め方

- ・授業が全ての基礎、基本となるので、1時間1時間集中して授業を受けること。また、疑問点はすぐに質問し、疑問を解消するようにつとめること。
- ・授業後は知識の整理に努め、資料集や問題集などを活用して重要語句の整理や現代社会の諸事象の把握に努めること。
- ・時事問題に詳しくなると、より授業の理解度が深まる。TVのニュースやドキュメンタリー、新聞などを見て様々な経済問題や国際問題に興味・関心をもち社会的事象を理解すること。
- ・主体的、自主的な学習をするとともに、教科担当の先生に積極的にアドバイスをもらい、広い視野で学習を進めていくこと。

5 評価

- ・中間テスト、期末テスト、学年末テスト、課題テストなどの結果に加え、提出された課題や授業中の様子など総合的に判断して評価する。関心、意欲、態度、思考、判断、資料活用、表現、知識理解など、多方面から力をみる。

R 3 地理・歴史科『地理B』学習シラバス

(3年 3単位)

1 目標

- ・現代世界に対する関心と課題意識を高め、意欲的に地理を学習する。
- ・現代世界の諸事象や諸地域を多面的・多角的に考察し、系統地理的・地誌的に考察する方法を身につける。
- ・地球儀や地図、統計、画像資料などを活用し、世界の地理的事象や生活圏の地域的特色をとらえる技能を身につけ表現する。
- ・現代世界についての地理的な認識を、地理的な見方だけでなく、歴史的な背景や国際社会と関連づけて理解する。

2 使用する教材 ※2学年より継続

- ① 教科書 新詳地理B (帝国書院) 新詳高等地図 (帝国書院)
- ② 補助教材 地理資料2020 (とうほう)
- ③ 問題集 ウイニングコンパス地理の整理と演習2021 (とうほう) ※新規購入

3 1年間の授業の流れ (学習計画)

	学習内容	教科書の該当範囲
1 学期	「資源と産業」 第3次産業 交通・通信 貿易 「人口、村落・都市」 人口 村落と都市 都市問題 「生活文化、民族・宗教」	「資源と産業」…p.153-167 「人口、村落・都市」…p.168-200 「生活文化、民族・宗教」…p.201-226
2 学期	「現代世界の諸地域」 東アジア 東南アジア 南アジア 西アジアと中央アジア 北アフリカとサハラ以南のアフリカ 「問題演習」	「現代世界の諸地域」…p.228-317
3 学期	「問題演習」	

4 勉強の進め方 ～学力UPのためのアドバイス～

- ・授業が全ての基礎・基本となる。1時間1時間集中して授業を受けること。
- ・授業後は知識の整理に努め、地図帳や問題集などを活用して重要語句や重要地名の確認を怠らないこと。
- ・TVのニュースやドキュメンタリー、新聞などを見て様々な経済問題や国際問題に興味・関心を持ち現代世界を理解すること。時事問題に詳しくなると、より授業の理解度が深まる。
- ・主体的・自主的な学習をするとともに、教科担当の先生に積極的にアドバイスをもらい、広い視野で学習を進めていくこと。

5 評価

- ・中間テスト、期末テスト、学年末テスト、校内模試、課題テストなどの結果に加え、提出された課題や授業中の様子など総合的に判断して評価する。関心・意欲・態度、思考・判断、資料活用の技能・表現、知識・理解など、多方面から地理の力をみる。

R3 数学科『数学Ⅰ＋A』学習シラバス

(1年 6単位)

1 この科目の目標は・・・

方程式・関数・図形など、各分野の基礎基本となる概念や原理・法則の理解を深めるとともに、数学的な考察方法や数学における処理技術を習得し、高校数学の土台を築く。自主的・積極的に取り組むことで、数学のよさを認識し、数学を活用する態度を養う。

2 使用する教材について

(1) 教科書・・・数学Ⅰ、数学A－改訂版－(数研出版)

(2) 補助教材・・・チャート式(青色)Ⅰ＋A(数研出版)

(3) 問題集・・・クリアー 数学Ⅰ＋A(数研出版)

これらは授業時の使用に加え、課題として家庭学習でも使用する。また、定期試験の範囲として指定される。一度解いて満足するのではなく、繰り返し演習するように。

3 1年間の授業の流れ(学習計画)

	学習内容	教科書の該当範囲
1学期	式の計算、1次不等式、2次方程式、2次関数について学習する。2次関数では、関数の基礎基本となる重要な考え方を学ぶ。また、データの分析で統計についての基本的なことを学習する。	I 1章 数と式 I 3章 2次関数 I 5章 データの分析
2学期	図形と計量では、「三角比」について学ぶ。集合と命題では集合の基礎とさまざまな証明法について学ぶ。また、確率の計算について、中学校の学習をベースに深く調べていく。	I 4章 図形と計量 I 2章 集合と命題 A 1章 場合の数と確率
3学期	整数や図形の性質について学ぶ。 1年間の総復習をする。 課題学習(数学の研究)に挑戦する。	A 2章 図形の性質 A 3章 整数の性質

4 勉強の進め方 ～学力UPのためのアドバイス～

- (1) 授業がもっとも重要である。中学校に比べて授業のスピードが速いため、理解するためには学習量を増やさなければならぬ。
- (2) 復習について、その日のノート(プリント)を読み、「クリアー」、「チャート式」など問題集や参考書の問題をきなおす。また、平日や週末、長期休業における課題にはきっちりと取り組むこと。

5 ここで評価します！

中間テスト(2回)、期末テスト(2回)、学年末テスト、校内実力テスト(3回)、課題テスト(春休み・夏休み)、単元テストなどの試験の結果に加え、提出された課題や授業中の学習の様子などを総合的に判断して評価する。関心・意欲・態度、数学的な考え方、表現・処理、知識・理解など、多方面から数学の力をみる。

R3 数学科『数学Ⅱ+B』学習シラバス

(2年 6単位)

1 この科目の目標は・・・

数学Ⅱでは、いろいろな式・図形と方程式・種々の関数・微分・積分など、おもに関数分野に関して、数学Ⅰより高次の概念や原理・法則の理解を深め、数学的な考察方法や数学における処理技術を習得する。数学Bでは、ベクトル・数列に関する概念や原理・法則の理解を深め、高次の数学を考察する上で道具となる知識を身に付ける。数学ⅠAでの学習同様、自主的・積極的に取り組むことで、数学のよさを認識し、数学を活用する態度を養う。

2 使用する教材について

- ① 教科書 …… 数学Ⅱ、数学B（数研出版）
- ② 補助教材 …… クリアー数学Ⅱ+B（数研出版）
- ③ 問題集 …… チャート式（青色）数学Ⅱ+B（数研出版）

②と③は授業時の使用に加え、課題として家庭学習でも使用する。また、定期試験の範囲として指定される。一度解いて満足するのではなく、繰り返し繰り返し演習するように。

3 1年間の授業の流れ（学習計画）

	学習内容	教科書の該当範囲
1 学期	式の証明や高次の方程式の解法を学習する。 図形と方程式について学習する。 三角関数について学習する。 指数関数・対数関数について学習する。	Ⅱ 1 章 式と証明 Ⅱ 2 章 高次方程式 Ⅱ 3 章 図形と方程式 Ⅱ 4 章 三角関数 Ⅱ 5 章 指数関数・対数関数
2 学期	微分・積分について学習する。 ベクトルについて学習する。	Ⅱ 6 章 微分と積分 B 1 章 平面上のベクトル B 2 章 空間のベクトル
3 学期	数列について学習する。 数Ⅲの学習か、ⅠAⅡBの復習をする	B 3 章 数列

4 勉強の進め方 ～学力UPのためのアドバイス～

- ① 内容が難しくなるうえに、計算量が非常に多いので、学習量をより増やさなければならない。1日1時間、最低でも1日30分の学習が必要である。
- ② 予習については、教科書を読み太字の内容をマーカーなどでチェックするとともに例題にチャレンジする。復習については、その日の授業を振り返り、「クリアーⅡ+B」で演習を行い内容の定着を図る。また、毎週出る「週末課題」にはきっちりと取り組むこと。
- ③ 入試では、「思考力」とともに「計算力」が必要。「計算力」を向上させる唯一の方法は、「繰り返し繰り返し」の特訓。このつらい学習に耐えると、計算力だけでなく思考力も向上し、数学がわかるようになるため、学習意欲もわく。また、数学は「論理的思考」を身に付けるための学問である。「考える」ことから逃げないでほしい。

5 ここで評価します！

中間テスト（2回）、期末テスト（2回）、学年末テスト、校内実力テスト（3回）、課題テスト（春休み・夏休み）、単元テストなどの試験の結果に加え、提出された課題や授業中の学習の様子などを総合的に判断して評価する。関心・意欲・態度、数学的な考え方、表現・処理、知識・理解など、多方面から数学の力をみる。

R3 数学科『応用数学Ⅰ・Ⅱ』学習シラバス

(3年文系 I 2単位・II 3単位)

1 この科目の目標は・・・

これまでに学んだ知識・技能を統合し、応用問題への活用を考える。自主的・積極的に取り組むことで、数学のよさを認識し、数学を活用する態度を養う。

2 使用する教材について

- ① 準教科書・・・チャート式黄 数学Ⅰ+A、Ⅱ+B (数研出版)
- ②問題集・・・キートレーニング数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B (数研出版)
共通テスト数学直前演習 (BENESSE)

3 1年間の授業の流れ (学習計画)

	学習内容
1 学期	キートレーニング数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B (数研出版)
2 学期	キートレーニング数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B (数研出版) 共通テスト数学直前演習 (BENESSE)
3 学期	個別の進路に応じた総合演習

4 勉強の進め方 ～学力UPのためのアドバイス～

教科書・テキストなど、授業進度に合わせて計画的に家庭学習を進める。

5 ここで評価します！

中間テスト(2回)、期末テスト(2回)、校内実力模試(2回)、課題テスト(春休み)などの試験の結果に加え提出された課題や授業中の学習の様子などを総合的に判断して評価する。関心・意欲・態度、数学的な考え方、表現・処理、知識・理解など、多方面から数学の力をみる。

R3 数学科『数学Ⅲ』学習シラバス

(3年理系 Ⅲ7単位)

1 この科目の目標は・・・

大学以降の数学を学ぶための解析学の基礎等、より高次の概念を扱うことで、数学的な考察方法や数学における処理技術を習得するとともに創造性の基礎を培う。自主的・積極的に取り組むことで、数学のよさを認識し、数学を活用する態度を養う。

2 使用する教材について

- ①教科書・・・ 数学Ⅲ (啓林館)
- ②問題集・・・ クリアー 数学Ⅲ(数研出版)
共通テスト対策直前演習 (BENESSE)

3 1年間の授業の流れ (学習計画)

	学習内容
1 学期	数列および関数の極限、微分、積分 (Ⅲ)
2 学期	2次曲線、複素数平面 (Ⅲ) 共通テスト対策 (共通テスト対策数学直前演習) 大学入試記述式対策 (プリントなど)
3 学期	個別の進路に応じた総合演習

4 勉強の進め方 ～学力UPのためのアドバイス～

教科書・テキストなど、授業進度に合わせて復習中心に学習を進める。

メジアンを用いた復習は授業で取り扱う時間がないので、各自の家庭学習で進めておくこと。

5 ここで評価します！

中間テスト (2回)、期末テスト (2回)、校内実力模試 (2回)、課題テスト (春休み) などの試験の結果に加え、提出された課題や授業中の学習の様子などを総合的に判断して評価する。関心・意欲・態度、数学的な考え方、表現・処理、知識・理解など、多方面から数学の力をみる。

R3 数学科『応用数学Ⅰ・Ⅱ』学習シラバス

(3年理系 I 3単位・II 4単位)

1 この科目の目標は・・・

これまでに学んだ知識・技能を統合し、応用問題への活用を考える。自主的・積極的に取り組むことで、数学のよさを認識し、数学を活用する態度を養う。

2 使用する教材について

- ①準教科書・・・ チャート式黄 数学Ⅰ+A、Ⅱ+B (数研出版)
- ②問題集・・・ キートレーニング数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B (数研出版)
共通テスト数学直前演習 (BENESSE)

3 1年間の授業の流れ (学習計画)

	学習内容
1 学期	キートレーニング数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B (数研出版)
2 学期	キートレーニング数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B (数研出版) 共通テスト数学直前演習 (BENESSE)
3 学期	個別の進路に応じた総合演習

4 勉強の進め方 ～学力UPのためのアドバイス～

教科書・テキストなど、授業進度に合わせて計画的に家庭学習を進める。

5 ここで評価します！

中間テスト(2回)、期末テスト(2回)、校内実力模試(2回)、課題テスト(春休み)などの試験の結果に加え、提出された課題や授業中の学習の様子などを総合的に判断して評価する。関心・意欲・態度、数学的な考え方、表現・処理、知識・理解など、多方面から数学の力をみる。

R3(2021) 理科『物理基礎』学習シラバス

(1年 2単位)

1 この科目の目標は・・・

日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

2 教材について

- ①教科書・・・「改訂 新物理基礎」(第一学習社)
- ②補助教材・・・適宜、演習プリントを配布する。
- ③問題集・・・「改訂 プロGRESS 物理基礎」(第一学習社)

○使い方・難易度：テスト対策、入試対策(入試基礎～共通テスト)

3 1年間の授業の流れ(学習計画)

	学習内容	教科書の該当範囲
1 学期	日常に起こる物体の運動の基本的な概念や法則を学習する。	第1章 力と運動 「第1節 物体の運動」 「第2節 力と運動の法則」
2 学期	運動とエネルギーについての基礎的な見方や考え方を学習する。 熱と温度、熱の移動や仕事との変換について理解する。 波の基本的な性質を理解する。また、音波の性質、気柱や弦の振動について学習する。	第2章 エネルギー 「第1節 仕事と力学的エネルギー」 「第2節 熱とエネルギー」 第3章 波動 「第1節 波の性質」 「第2節 音波」
3 学期	物質による抵抗率の違いや、交流の発生・送電及び利用の基本的な仕組みについて学習する。 人類が利用可能なエネルギーの特性や、既習事項と日常生活や科学技術との関連について理解する。	第4章 電気 「第1節 電荷と電流」 「第2節 電流と磁場」 「第3節 エネルギーとその利用」

4 勉強の進め方 ～学力UPのためのアドバイス～

① 予習・復習について

予習については、教科書を読む程度で十分ですのでその分、復習を重点的に行ってください。出された宿題必ず行う、問題集で演習する。なるべく毎日、物理に触れるようにしましょう。

② 課題について

毎日の宿題の他に、問題集、プリントなどの週末課題を出題します。必ず、課題用ノートを1冊用意してください。(特にテスト勉強・長期休業中の課題用)。やった課題を何度も見直せるようにノートにやりましょう。

③ 定期テストの準備について基礎から応用まで幅広く出題します。授業、宿題、課題、実験を一つ一つ理解していくことが大切です。また、目標として「プロGRESS」を3往復しましょう。

5 ここで評価します！

中間テスト(2回)、期末テスト(2回)、学年末テスト、課題テストなどの試験の結果に加え、平常の学習態度(予習・復習の状況、授業態度、課題の提出状況等)、実験の考察、出欠状況等を考慮しておこなう。

R3 (2021) 理科『生物基礎』学習シラバス

(1年 2単位)

1 この科目の目標

生物や生物現象への関心を高め、日常生活や社会との関連を理解する。
目的意識を持って観察・実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てる。
生物の基本的な概念や原理・法則を理解して、科学的な見方や考え方を養う。

2 使用する教材について

- ①教科書・・・ 生物基礎 (東京書籍)
- ②補助教材・・・ ニューステージ 新生物図表 (浜島書店)
- ③問題集・・・ ネオパルノート生物基礎 (第一学習社)

3 1年間の授業の流れ(学習計画)

	学習内容	教科書の該当範囲
1 学期	生物についての共通性と多様性を学習する。 生命活動に必要なエネルギーと代謝について学習する。 DNAの特徴について学習する。	第1編 生物の特徴 1章 生物の多様性と共通性 2章 生命活動とエネルギー 第2編 遺伝子とそのはたらき 1章 生物と遺伝子
2 学期	DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されるしくみを学習する。 体内環境の維持に、自律神経とホルモン、免疫とそれに関わる細胞について学習する。	2章 遺伝情報の分配 3章 遺伝情報とタンパク質の合成 第3編 生物の体内環境の維持 1章 体内環境 2章 体内環境の調節 3章 免疫
3 学期	植生の成り立ちについて学習する。 生態系における物質の循環と、エネルギーの移動、生態系の保全の重要性について学習する。	第4章 生物の多様性と生態系 1章 植生の多様性と遷移 2章 バイオームとその分布 3章 生態系とその保全

4 勉強の進め方 ～学力UPのためのアドバイス～

- ①授業と復習を重視する。その日に学習したことが、次の授業を理解するための基礎となる。
- ②課題をこなし、必ず期限までに提出する。必要な時期までに身につけなければ、それ以降の学習に遅れがでる。
- ③大学入学共通テストで受験科目になるので、問題集の問題を繰り返し解くこと。

5 ここで評価します！

中間・期末の定期テスト、実力テスト・課題テスト及び小テストの成績
実験まとめプリントの内容
主体的な授業への取り組み等で総合的に判断して行います。

R 3 理科『化学基礎』学習シラバス

(2年文系 2単位)

1. 目標

物質とその変化について関心を高め、日常生活や社会との関連を理解する。
目的意識を持って観察・実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てる。
化学の基本的な概念や原理・法則を理解して、科学的な見方や考え方を養う。

2. 使用する教材について

- ①教科書・・・高校化学基礎 (数研出版)
- ②補助教材・・・サイエンスビュー 化学総合資料 (実教出版)
- ③問題集・・・標準セミナー化学基礎 (第一学習社)

3. 1年間の授業の流れ (学習計画)

	学習内容	教科書の該当範囲
1 学期	物質を構成している原子の構造について学習する。原子からできるイオンとイオンの結合によって生成する物質について学習する。	第 1 編 物質の構成と化学結合 第 1 章 物質の構成 第 2 章 物質の構成粒子
2 学期	原子が結合してできる分子や金属について学習する。さまざまな物質の変化 (反応) とそれに伴う物質の量的関係について学習する。	第 3 章 粒子の結合 第 2 編 物質の変化 第 1 章 物質と化学反応式 第 2 章 酸と塩基の反応
3 学期	物質の変化の 1 つとして酸化還元反応とその利用について学習する。	第 3 章 酸化還元反応

4. 勉強の進め方 ～学力 UP のためのアドバイス～

授業と復習を重視する。その日に学習したことが、次の授業を理解するための基礎となる。
課題をこなし、必ず期限までに提出する。必要な時期までに身につけなければ、それ以降の学習に遅れがでる。
問題集の問題を繰り返し解くこと、大学入試共通テストで受験科目になる。
計算力 (計算速度) をつける必要もある。途中の計算も省略せず自分で解いてみることを。

5. ここで評価します!

定期テスト、課題・実力テスト、授業の振り返り内容などで評価します。

R3 (2021) 理科『生物総合』学習シラバス

(2年 2単位)

1 この科目の目標は・・・

日常生活や社会との関連を図りながら生物の生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察実験などを行い、生物学的に探求する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

2 使用する教材について

- ①教科書 生物基礎（東京書籍）
- ②補助教材 ニューステージ新生物図表（浜島書店）
- ③問題集 ニューステップアップ生物基礎（東京書籍）

3 1年間の授業の流れ（学習計画）

	学習内容	教科書の該当範囲
1 学期	気候と植生の関係について学ぶ	気候とバイオーム
	環境問題について学ぶ	生態系とその保全
	生物基礎の復習（生物と遺伝子）	復習
2 学期	生物基礎の復習（生物の体内環境の維持）	復習
3 学期	生物基礎の復習（生物の多様性と生態系）	復習

4 勉強の進め方 ～学力 UP のためのアドバイス～

- ① 予習について：予習はしてこなくても良い。
- ② 復習について：板書ノートを読み返して、ニューステップアップを解き直す。
- ③ 課題について：定期考査前、春夏冬期休業中、校外模試前に課題を設定する。
- ④ 定期テストの準備について：図表・授業ノートを見ながら、ニューステップアップを解く。
- ⑤ 大学入学共通テスト対策について：3 学年 2 学期からスタートする。

5 ここで評価します！

中間・期末の定期テスト、実力テスト・課題テスト及び小テストの成績、平常態度（授業態度、ノートの整理、課題の提出状況、復習の状況、実験）、出席状況を考慮して総合的に判断して行います。

R3年(2021) 理科『物理』学習シラバス

(2年 3単位)

1 この科目の目標は・・・

日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

2 教材について

①教科書・・・『物理』(第一学習社)

②補助教材・・・適宜、演習プリントを配布する。

③問題集・・・『セミナー物理基礎+物理』(第一学習社)

○使い方・難易度：定期テスト対策、入試対策(共通テスト～二次試験レベル)

3 1年間の授業の流れ(学習計画)

	学習内容	教科書の該当範囲
1 学期	日常に起こる物体の運動の基本的な概念や法則を学習する。	第1章 運動とエネルギー 「第1節 平面運動と放物運動」「第2節 剛体のつりあい」「第3節 運動量の保存」
2 学期	気体分子の運動から気体の基本法則、状態変化について学習する。 波の基本的な性質を理解する。	「第4節 円運動と単振動」 「第5節 気体の性質と分子の運動」 第2章 波 「第1節 波の性質」
3 学期	音や光が波であるという重要な性質について学習する。	「第2節 音波」「第3節 光波」

4 勉強の進め方 ～学力UPのためのアドバイス～

① 予習・復習について

予習については、教科書を読む程度で十分です。また、復習を重点的に行ってください。出された宿題を必ず行う、問題集で演習する。毎日、物理に触れるようにしましょう。

② 課題について

毎日の宿題の他に、問題集、プリントなどの週末課題を出題します。必ず、課題用ノートを1冊用意してください。やった課題を何度も見直せるようにノートにやりましょう。

③ 定期テストの準備について

基礎から応用まで幅広く出題します。授業、宿題、課題、実験を一つ一つ理解していくことが大切です。また、目標として「セミナー」を3往復しましょう。

5 ここで評価します！

中間テスト(2回)、期末テスト(2回)、学年末テスト、課題テストなどの試験の結果に加え、平常の学習態度(予習・復習の状況、授業態度、課題の提出状況等)、実験の考察、出欠状況等を考慮しておこなう。

R 3 理科『化学基礎』学習シラバス

(2年理系 2単位 (前期4単位))

1. 目標

物質とその変化について関心を高め、日常生活や社会との関連を理解する。目的意識を持って観察・実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てる。化学の基本的な概念や原理・法則を理解して、科学的な見方や考え方を養う。

2. 使用する教材について

- ①教科書・・・高校化学基礎 (数研出版)
- ②補助教材・・・サイエンスビュー 化学総合資料 (実教出版)
- ③問題集・・・セミナー化学基礎+化学 (第一学習社)

3. 1年間の授業の流れ (学習計画)

	学習内容	教科書の該当範囲
1 学期	物質を構成している原子の構造とそれらの結合について学習する。	第 1 編 物質の構成と化学結合 第 1 章 物質の構成 第 2 章 物質の構成粒子
2 学期	さまざまな物質の変化 (反応) とそれに伴う物質の量的関係について学習する。	第 3 章 粒子の結合 第 2 編 物質の変化 第 1 章 物質量と化学反応式 第 2 章 酸と塩基の反応 第 3 章 酸化還元反応

4. 勉強の進め方 ～学力 UP のためのアドバイス～

授業と復習を重視する。その日に学習したことが、次の授業を理解するための基礎となる。

課題をこなし、必ず期限までに提出する。必要な時期までに身につけなければ、それ以降の学習に遅れがでる。

問題集の問題を繰り返し解くこと、大学入試共通テストの受験科目となる。

計算力 (計算速度) をつける必要もある。途中の計算も省略せず自分で解いてみること。

5. ここで評価します!

定期テスト、課題・実力テスト、授業の振り返り内容などで評価します。

R 3 理科『化学』学習シラバス

(2年理系 2単位 (後期4単位))

1. 目標

化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察・実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てる。化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

2. 使用する教材について

- ①教科書・・・高校化学基礎 (数研出版)
- ②補助教材・・・サイエンスビュー 化学総合資料 (実教出版)
- ③問題集・・・セミナー化学基礎+化学 (第一学習社)

3. 1年間の授業の流れ (学習計画)

	学習内容	教科書の該当範囲
2学期	・気体・液体・固体の性質と状態間の変化について学習する。 ・気体の体積と圧力・温度との関係を学習する。 ・物質が溶解する仕組みについて身近な現象と結びつけながら学習する。	第1編 物質の状態 第2章 物質の状態変化 第3章 気体 第4章 溶液
3学期	・化学反応における光・熱の発生や吸収について学習する。 ・反応速度のあらわれ方とそれに影響を与える要因について学習する。 ・可逆反応と化学平衡・平衡の移動について学習する。	第2編 物質の変化 第1章 化学反応とエネルギー 第3章 化学反応の速さとしくみ 第4章 化学平衡

4・勉強の進め方 ～学力UPのためのアドバイス～

- ①とにかく「授業に集中すること」がもっとも重要である。復習については授業があった日、あるいは週末に授業のノートや問題集を利用して行う。
- ②予習については、特に必要としない。その分、復習や与えられた課題をしっかりとこなし、期日までにきちんと提出すること。
- ③入試では、知識だけでなく「思考力」や「計算力」が必要。つまり、化学だけでなく、数学的な力も備わっていないといけない。また、「考える力」も必要であるので、すぐに答えに頼らず、自分で調べ、考える訓練もして欲しい。

5・ここで評価します！

定期テスト、校内実力テスト、課題テストなどの試験の結果に加え、提出された課題や授業中の学習の様子、実験への取り組みなどを総合的に判断して評価する。

R3 (2021) 理科『生物』学習シラバス

(2年 3単位)

1 この科目の目標は・・・

生物や生物現象に対する探求心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探求する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

2 使用する教材について

- ①教科書 生物（東京書籍）
- ②補助教材 ニューステージ新生物図表（浜島書店）
- ③問題集 新課程 セミナー 生物（第一学習社）

3 1年間の授業の流れ（学習計画）

	学習内容	教科書の該当範囲
1 学期	細胞の構造について学ぶ タンパク質の種類とはたらきについて学ぶ 代謝について学ぶ	生体物質と細胞 タンパク質の構造と酵素 細胞間の相互作用とタンパク質 代謝とエネルギー
2 学期	DNAの基本構造について学ぶ 遺伝情報の流れについて学ぶ 発現のしくみについて学ぶ 遺伝の応用について学ぶ	DNAの構造と複製 遺伝情報の発現 遺伝子の発現調節 バイオテクノロジー
3 学期	生物の生殖と遺伝について学ぶ	生物の有性生殖

4 勉強の進め方 ～学力UPのためのアドバイス～

- ① 予習について：予習はしてこなくても良い。
- ② 復習について：週の最初の授業時に小テストを実施するので復習を週末に必ずすること。
- ③ 課題について：定期考査前、春夏冬期休業中、校外模試前に課題を設定する。
- ④ 定期テストの準備について：セミナーを解くこと。一問一答のように答えを覚えるのではなく、意味を考えながら解くこと。
- ⑤ 大学入学共通テスト対策について：3学年2学期からスタートする。問題の解き方読み方の演習。

5 ここで評価します！

中間・期末の定期テスト、実力テスト・課題テスト及び小テストの成績、学習態度（授業態度、ノートの整理、課題の提出状況、復習の状況、実験）、出席状況を考慮して総合的に判断して行います。

R 3 理科『化学総合』学習シラバス

(3年文系選択 3単位)

1. 目標

2学年の化学基礎の内容を基本として、物質の構成については水素結合や金属の結晶格子など、化学結合の発展的内容を、化学反応については中和滴定の応用として2段階滴定など、また実用電池、電気分解の工業への応用に関して学習する。

2. 使用する教材について

①教科書・・・ニューステージ 新訂 化学図表(浜島書店)

②問題集・・・標準セミナー化学基礎(第一学習社)

3. 1年間の授業の流れ(学習計画)

	学習内容	教科書の該当範囲
1学期	物質を構成している原子の構造について学習する。原子からできるイオンや原子が結合してできる分子や金属について発展的に学習する。	第1章 物質の構成
2学期	さまざまな物質の変化(反応)とそれに伴う物質の量的関係について学習する。	第2章 物質の変化
3学期	物質の変化の1つとして酸化還元反応とその工業的な応用について学習する。	第2章 物質の変化

4. 勉強の進め方 ～学力UPのためのアドバイス～

授業と復習を重視する。その日に学習したことが、次の授業を理解するための基礎となる。

課題をこなし、必ず期限までに提出する。必要な時期までに身につけなければ、それ以降の学習に遅れがでる。

問題集の問題を繰り返し解くこと、大学入試共通テストでも生かすことができる。

計算力(計算速度)をつける必要がある。途中の計算も省略せず自分で解いてみること。

5. ここで評価します！

中間・期末の定期テスト、実力テスト・課題テスト及び小テストの成績、実験まとめプリントの内容等で総合的に判断して行います。

R3年(2021) 理科『物理』学習シラバス

(3年 4単位)

1 この科目の目標は・・・

物理的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

2 教材について

①教科書・・・「物理」(第一学習社)

②補助教材・・・適宜、演習プリントを配布する。

③問題集・・・「セミナー 物理基礎+物理」(第一学習社)

○使い方・難易度：テスト対策、入試対策用(共通テストレベル～国公立二次試験レベル)

3 1年間の授業の流れ(学習計画)

	学習内容	教科書の該当範囲
1 学期	電界・電位・電流に関する復習を行い、電流と磁界や電磁波に関する現象や基本的法則を学習する。	第3章 電気と磁気 「第1節 電場と電位」「第2節 電流」「第3節 電流と磁場」「第4節 電磁誘導と交流」
2 学期	電子の基本的性質と光の粒子性や粒子の波動性など、微視的世界の物理法則・現象について理解を深め、原子や素粒子、核エネルギーなどに関する基礎的な知識、概念を学習する。	第4章 原子 「第1節 電子と光」 「第2節 原子と原子核」 「物理」総復習 共通テスト・二次試験対策
3 学期	共通テスト・二次に向けて物理の総復習。	共通テスト・二次試験対策

4 勉強の進め方 ～学力UPのためのアドバイス～

① 予習・復習について

予習については、教科書を読む程度で十分です。また、復習を重点的に行ってください。出された宿題を必ず行う、問題集で演習する。毎日、物理に触れるようにしましょう。

② 課題について

毎日の宿題の他に、問題集、プリントなどの週末課題を出題します。

③ 定期テストの準備について

基礎から応用まで幅広く出題します。授業、宿題、課題、実験を一つ一つ理解していくことが大切です。

④ 外部模試・共通テスト・二次試験対策について

基本的には、定期テストの延長線上です。目標として「セミナー」を3往復しましょう。中堅国公立私立大学を目指す者は「物理のエッセンス」2冊も併用すると盤石です。また、11月からは入試の過去問にどんどん触れていきましょう。

5 ここで評価します！

中間テスト(2回)、期末テスト(2回)、課題テスト、校内模試などの試験の結果に加え、平常の学習態度(予習・復習の状況、授業態度、課題の提出状況等)、実験の考察、出欠状況等を考慮しておこなう。

R 3 理科『化学』学習シラバス

(3年理系 4単位)

1. 目標

化学的な事物・現象についての基本的な概念や原理・法則の理解を深めるとともに、実験・観察をとおり、探究する能力と態度および科学的な自然観を身に付ける。また、基本的な事項の理解と探求心をより高めることによって、受験に必要な知識の習得も目指す。

2. 使用する教材について

- ①教科書・・・化学（数研出版）
- ②補助教材・・・ニューステージ新化学図表（浜島書店）
- ③問題集・・・セミナー化学基礎＋化学（数研出版）

3. 1年間の授業の流れ（学習計画）

	学習内容	教科書の該当範囲
1 学期	無機物質の様々な性質や化学変化について学習する。化学工業や私たちの生活と関連についても学習する。 金属元素からなる無機物質の様々な性質や化学変化について学習する。 有機化合物のさまざまな性質や変化について学習する。私たちの普段の生活に関係深い物質が多い。	第3編 無機物質 第1章 非金属元素 第2章 金属元素（Ⅰ） 第3章 金属元素（Ⅱ） 第4編 有機化合物 第1章 有機化合物の分類と分析 第2章 脂肪族炭化水素
2 学期	日常生活に関係深い高分子化合物について学習する。 共通テスト・2次試験対策	第3章 アルコールと関連物質 第4章 芳香族化合物 第5編 天然有機化合物 第1章 天然有機化合物 第2章 天然高分子化合物 第6編 合成高分子化合物 第1章 高分子の性質 第2章 合成高分子化合物
3 学期	共通テスト・2次試験対策	

4. 勉強の進め方 ～学力UPのためのアドバイス～

授業と復習を重視する。その日に学習したことが次の授業を理解するための基礎となる。

課題をこなし、必ず期限までに提出する。必要な時期までに身につけなければ、それ以降の学習に遅れがでる。

計算力（計算速度）が要求される問題もある。問題集の問題を繰り返し解くこと。

5. ここで評価します！

中間・期末の定期テスト、実力テスト・課題テスト及び小テストの成績、実験まとめプリントの内容

その他、主体的な授業への取り組み等で総合的に判断して行います。

R3 (2021) 理科『生物』学習シラバス

(3年理系 4単位)

1 この科目の目標

生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察・実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てる。
生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

2 使用する教材について

- ①教科書・・・生物 (東京書籍)
- ②補助教材・・・ニューステージ 新生物図表 (浜島書店)
- ③問題集・・・セミナー生物基礎+生物 (第一学習社)

3 1年間の授業の流れ (学習計画)

	学習内容	教科書の該当範囲
1 学期	・生物の生殖や発生について学習する。 ・動物と植物の配偶子形成から形態形成までのしくみを学習する。 ・生物個体が外界の変化を感知し、それに反応するしくみを学習する。	第3編 生殖と発生 1章 生物の生殖と配偶子の形成 2章 動物の発生 3章 動物の発生のしくみ 4章 発生をつかさどる遺伝子 5章 植物の発生 第4編 生物の環境応答 1章 動物の刺激の受容と反応
2 学期	・生態系のバランスや生物多様性の重要性について学習する。 ・生物の進化の過程とそのしくみを学習する。	2章 動物の行動 3章 植物の環境応答 第5編 生態と環境 1章 個体群と生物群集 2章 生態系の物質生産とエネルギーの流れ 3章 生態系と生物多様性 第6編 生物の進化と系統 1章 生命の起源と生物の変遷
3 学期	・生物界の多様性と系統について学習する。	2章 進化のしくみ 3章 生物の系統

4 勉強の進め方 ～学力UPのためのアドバイス～

- ① とにかく「授業に集中すること」がもっとも重要である。また週の最初に小テストを実施するので週末に授業の復習をすること。
- ② 予習については、特に必要としない。その分、復習や与えられた課題をしっかりとこなし、期日までにきちんと提出すること。また、小テストの対策をすること。
- ③ 入試では、知識だけでなく「考える力」も必要であるので、すぐに答えに頼らず、自分で調べ、考える訓練もして欲しい。

5 ここで評価します！

定期テスト、校内実力テスト、課題テストなどの試験の結果に加え、提出された課題や授業中の学習の様子、実験への取り組みなどを総合的に判断して評価する。

R3 保健体育科『体育』学習シラバス

(1年 2単位)

1 この科目の目標は・・・

運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

2 準備するもの

指定体育着、指定水着、選択した種目に必要な道具（柔道着、竹刀、グラブ、ラケット等）

3 1年間の授業の流れ（学習計画）

	学習領域	学習内容
1 学期	・ 体育理論 ・ 体づくり運動 ・ 球技選択Ⅰ ・ 水泳	・ 社会の変化とスポーツについて ・ 実生活に生かす様々な体ほぐしの運動を組み合わせる行う ・ ソフトテニス、バスケットボール、バレーボールから1種目選択 ・ クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライの各泳法
2 学期	・ 水泳 ・ 武道・ダンス選択 ・ 陸上競技 ・ 武道・ダンス選択 ・ 球技選択Ⅱ	・ 柔道、剣道、ダンスから1種目選択。 ・ 長距離走 ・ サッカー、バドミントン、卓球から1種目選択
3 学期	・ 球技選択Ⅱ	

4 授業に臨む心構え

得意、不得意がはっきりしてしまう科目ではあるが、不得意な者は「出来る」ように、得意な者は「さらに出来るように」向上心を持って意欲的に取り組む。

5 ここで評価します！

種目ごとに、出席状況・授業態度・積極性・授業内容への取り組み方・実技テスト・記録・授業レポート等で総合的に判断し評価を行います。

R3 保健体育科『保健』学習シラバス

(1年 1 単位)

1 この科目の目標は・・・

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自ら健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

2 使用する教材について

- ①教科書 「現代高等保健体育」 大修館書店
- ②補助教材
- ③問題集

3 1年間の授業の流れ(学習計画)

	学習内容	教科書の該当範囲
1 学期	国民の健康水準と疾病構造の変化、健康の考え方と成り立ち、健康に関する意志決定や行動選択、生活習慣病と日常の生活行動など	「私たちの健康のすがた」～「生活習慣病と日常の生活行動」 p 8～17
2 学期	喫煙・飲酒と健康、薬物乱用と健康、感染症とその予防、欲求と適応機制、心身の相関、ストレスへの対処、自己実現など	「喫煙と健康」～「自己実現」 p 18～45
3 学期	交通事故の現状、交通社会に必要な資質と責任、安全な社会づくり、応急手当の意義、日常的な応急手当、心肺蘇生法など	「交通事故の現状と要因」～「日常的な応急手当」 p 46～59

4 勉強の進め方 ～学力UPのためのアドバイス～

- ① 1単位(週1時間)の授業であるため、欠席しないことが大切。
- ② 集中し積極的に授業を受けることを心がけること。

5 ここで評価します！

期末テスト及び小テストの成績、ノートやプリント等の記入状況、学習活動への参加状況(授業態度等)などで総合的に判断し評価を行います。

R3 保健体育科『体育』学習シラバス

(2年 2単位)

1 この科目の目標は・・・

運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

2 使用する教材について

- ①教科書
- ②補助教材
- ③問題集

3 1年間の授業の流れ（学習計画）

	学習領域	学習内容
1 学期	・ 体育理論 ・ 体づくり運動 ・ 武道・ダンス選択 ・ 水泳	・ 社会の変化とスポーツについて ・ 実生活に生かす様々な体ほぐしの運動を組み合わせて行う ・ 柔道、剣道、ダンスから1種目選択。 ・ クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライの各泳法
2 学期	・ 水泳 ・ 球技選択Ⅰ ・ 陸上競技 ・ 武道・ダンス選択 ・ 球技選択Ⅱ	・ ソフトテニス、バスケットボール、バレーボールから1種目選択 ・ 長距離走 ・ サッカー、パドミントン、卓球から1種目選択
3 学期	・ 球技選択Ⅱ	

4 勉強の進め方 ～学力UPのためのアドバイス～

得意、不得意がはっきりとしてしまう科目ではあるが、不得意な者は「出来る」ように、得意な者は「さらに出来るように」向上心を持って意欲的に取り組む。

5 ここで評価します！

種目ごとに、出席状況・授業態度・積極性・授業内容への取り組み方・実技テスト・記録・授業レポート等で総合的に判断し評価を行います。

R3 保健体育科『保健』学習シラバス

(2年 1 単位)

1 この科目の目標は・・・

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自ら健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

2 使用する教材について

①教科書 「現代高等保健体育」 大修館書店

②補助教材

③問題集

3 1年間の授業の流れ（学習計画）

	学習内容	教科書の該当範囲
1 学期	思春期と健康、結婚生活と健康、加齢と健康など	「思春期と健康」～「高齢者のための社会的とりくみ」 p 62～75
2 学期	我が国の保健・医療制度、地域の保健・医療機関の活用、環境の汚染と健康、環境と健康にかかわる対策、環境保健にかかわる活動など	「保健制度と保健サービスの活用」～「環境衛生活動のしくみと働き」 p 76～93
3 学期	食品保健にかかわる活動、健康の保持増進のための環境と食品の保健、労働災害と健康、働く人の健康の保持増進など	「食品衛生活動のしくみと働き」～「健康的な職業生活」 p 94～105

4 勉強の進め方 ～学力 UP のためのアドバイス～

① 1 単位（週 1 時間）の授業であるため、欠席しないことが大切。

② 集中し積極的に授業を受けることを心がけること。

5 ここで評価します！

期末テスト及び小テストの成績、ノートやプリント等の記入状況、学習活動への参加状況（授業態度等）などで総合的に判断し評価を行います。

R3 保健体育科『体育』学習シラバス

(3年 3単位)

1 この科目の目標は・・・

運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

2 使用する教材について

- ①教科書
- ②補助教材
- ③問題集

3 1年間の授業の流れ（学習計画）

	学習領域	学習内容
1 学期	・ 体育理論 ・ 体づくり運動 ・ 武道・ダンス選択 ・ 水泳	・ 社会の変化とスポーツについて ・ 実生活に生かす様々な体ほぐしの運動を組み合わせて行う ・ 柔道、剣道、ダンスから1種目選択。 ・ クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライの各泳法
2 学期	・ 水泳 ・ 球技選択Ⅰ ・ 陸上競技 ・ 球技選択Ⅱ	・ ソフトテニス、ソフトボール、バレーボールから1種目選択 ・ 長距離走 ・ サッカー、バドミントン、バスケットボール、卓球から1種目選択
3 学期	・ 球技選択Ⅱ	

4 勉強の進め方 ～学力UPのためのアドバイス～

得意、不得意がはっきりしてしまう科目ではあるが、不得意な者は「出来る」ように、得意な者は「さらに出来るように」向上心を持って意欲的に取り組む。

5 ここで評価します！

種目ごとに、出席状況・授業態度・積極性・授業内容への取組かた・実技テスト・記録・授業レポート等で総合的に判断し評価します。

R3 保健体育科『スポーツ総合』学習シラバス

(3年私立文系クラス 選択3単位)

1 この科目の目標は・・・

スポーツの専門的な知識や高度な技能の総合的な活用を目指した課題研究を通して、知識・技能の重要性を改めて認識し、自らに適した生涯を通した豊かなスポーツライフの実現に向けた見通しを立てるとともに、スポーツと多様にかかわることのできる能力の育成を目指す。

2 使用する教材について

- ①教科書 特になし
- ②補助教材 特になし
- ③問題集 特になし

3 1年間の授業の流れ(学習計画)

	学習領域	学習内容
1学期	・バドミントン ・バスケットボール	・専門的な技能の習得とゲームでの実践
2学期	・ソフトボール ・ソフトテニス ・バレーボール	・専門的な技能の習得とゲームでの実践
3学期	・サッカー	・専門的な技能の習得とゲームでの実践

4 勉強の進め方 ～学力UPのためのアドバイス～

自主的に選択した科目であるため、グループ内で協力しながら自らの課題を見つけて、意欲的に学習に取り組む。
特に、生徒自身が部活動で経験がある種目においては、全体の中心となり専門的な技能の指導・助言にあたる。

5 ここで評価します！

種目ごとに、出席状況・授業態度・積極性・授業内容への取り組み方・実技テスト・記録・授業レポート等で総合的に判断し評価を行います。

R3 芸術科『音楽Ⅰ』学習シラバス

(1年 2単位)

1、目標

- ① 音楽の幅広い活動をととして、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。
- ② 感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化について理解を深める。
- ③ 自らの課題を、粘り強く最後まであきらめずにやり遂げる意欲・態度を養う。

2、使用教材

- ① 教科書 高校生の音楽1〈教育芸術社〉
- ② 補助教材 Music Note 基礎から学ぶ高校音楽、Z 式バインダー (A4 サイズ)
- ③ 問題集 課題プリントや資料を授業時に配布

3、1年間の授業の流れ(学習計画)

	学習内容	教科書の該当範囲※教科書以外の教材も含む
1 学期	オリエンテーション 表現 ～のびのびと歌おう・発声の基礎～ ～指揮を振ってみよう～ 鑑賞 ～練習への取り組み方・心構え～ 西洋音楽史 中世 グレゴリオ聖歌 ロマン派 ドイツリート ルネッサンス ポリフォニー バロック 音楽とダンス	1年間の授業の受け方 黒磯高校校歌 斉唱・(四部合唱) 翼をください 五月の歌 オーソレミオ 野ばら アヴェマリア 菩提樹 キリエ メヌエット など
2 学期	表現 ～ヴァイオリンに親しもう～ ～お箏を弾いてみよう～ 鑑賞 西洋音楽史 ロマン派 独奏曲・協奏曲・交響曲 日本音楽史 中世雅楽・近世箏曲	ヴァイオリン独奏「きらきら星」 生田流箏曲「さくら」 カプリッチョ・ヴァイオリン協奏曲 交響曲第9番合唱付き 催馬楽伊勢海・箏曲千鳥の曲
3 学期	表現 ～一人一人の表現力を伸ばそう～ 合唱コンクールに向けて ～混声四部合唱を楽しもう～ 鑑賞 ～総合芸術の楽しみ～	トゥナイト・カーロミオベン 課題曲校歌・自由曲 ウエストサイド物語、カルメン、アニー、レ・ミゼラブル

4、勉強の進め方 ～学力 UP のためのアドバイス～

一番大切なのは、先生の話をしっかりと聴き、授業に、主体的に積極的に関わって、歌い演奏し、質問し参加することです。(関心・意欲・態度)

実技試験は発表会形式で行います。と言うと、誰でも緊張して抵抗を感じるものですが、実技試験前の取り組みとして、試験時に人前で臆することなく表現できるようにするために、アクティブラーニングで取り組みながらクラスメートと歌い合い聴き合い、家庭でも聴いてもらい感想を言ってもらったりするなど各自工夫して、何度も歌い込んで楽譜を見なくても演奏できるように自信が持てるようにしっかりと練習をしてきましょう。チャレンジ精神が大切です。

器楽試験も同様のことが言えます。とくに試験前には積極的に音楽室に来て、練習しましょう。そして、普段から、音楽を聴いたり観たりする時間を作って音楽に親しみましょう。

さらに将来、音楽に関係する仕事に就きたい人は、それぞれの基礎を学ぶための絶好の機会ですから、譜面を読む力、つまり読譜力や視唱力視奏力をつけましょう。

芸術の授業は年間2単位で、この1年間だけの履修です。広く浅く学んでいきますが、進路等でより深く長く続けたい人は、この1年間だけではまったく足りません。授業以外にも、個人的にレッスンを受け、音楽系の部活動に必ず参加して音楽体験を増やすと共に、音楽の先生の専門的なアドバイスを直接もらえるように、工夫しましょう。

5、ここで評価します！

授業中の学習への取り組み方、提出物(課題プリント、ノートなど)、実技試験(発表会形式)、の三つを総合的に判断して評価します。

R3 芸術科『美術1』学習シラバス

(1年 2単位)

1、この科目の目標は・・・

- ①美術の基礎となる知識と技能を学び、様々な観点から創造活動を展開する。
- ②表現および鑑賞における幅広い学習活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てる。
- ③美を感じる感性を高め、表現する楽しさや完成の喜びを味わう。

2、使用する教材について

- ①教科書・・・高校美術1（日文）
- ②補助教材・・・適宜、プリントや図版を配布
- ③問題集・・・適宜、プリントを配布

3、1年間の授業の流れ（学習計画）

	学習内容	教科書の該当範囲
1 学期	・オリエンテーション ・素描 静物デッサン（鉛筆） ・絵画 水彩画	「オリエンテーション」 P.1-9 「体のかたち」 P.12-13 「絵の具を知ろう」 P.14-15、「身近なものを描く」 P.16-17
2 学期	・デザイン 木のスプーン作り ・彫刻 果物の模刻 ・鑑賞 浮世絵	「彫刻を作る」 P.38-39 「版画の世界」 P.32-35
3 学期	・版画 多色刷りのポストカード ・映像メディア 作品集作り	「版画の世界」 P.32-35

※作品の制作状況により内容等が変更になる場合があります。

4、勉強の進め方 ～学力UPのためのアドバイス～

- ・人の話をよく聞く…重要な話を聞き逃さないように。友達の意見もしっかり聞きましょう。
- ・忘れ物をしない…忘れ物をしてしまうと、その時間制作ができなくなってしまいます。
- ・後片付けをしっかりとる…次に教室や道具を使う人のことを考えましょう。
- ・提出日を守る…評価にも影響しますし、美術に限らず大切なことです。

授業中は自分から積極的に動いて、自分のアイディアをどんどん試してみましょう。何事も、やってみなければ分かりません。授業外では、美術館に行って実際の作品を見たり、作品や作家について調べたりするなどして、美術とふれあう時間を持ってください。また、自分の作品のPRをすることで自分の思想、意見の共有を図り他の思想や意見も吸収し表現の幅を広げていきましょう。

5、ここで評価します！

活動に取り組む意欲や態度、提出物の内容などから総合的に判断して評価します。

- ・授業中の態度…活動への取り組み、忘れ物、準備や片付け、遅刻回数や出席状況など
- ・提出物の内容…提出状況、作品の完成度、目標への到達度、制作中の工夫など

R3 音楽科『応用音楽』学習シラバス

(3年 3単位)

1、この科目の目標は・・・

進路に対応して、それぞれが選択した表現分野の演奏技術向上を目指すとともに、その裏付けとなる音楽知識の基礎を身に付ける。2時間連続授業の実技授業では、年二回(9月中間発表会・1月卒業演奏会)の発表会形式の実技試験を実施し、人前で臆せず自らを表現できるようにするのはもとより、聴き手にどう伝えるかを考えて表現できるようにする。1時間の座学授業では、音楽理論、ソルフェージュ、音楽史等を学ぶ。

2、使用する教材について

① 教科書 Music Navigation

② 補助教材 各自準備するもの

・ファイル(A4サイズ)

・器楽、声楽、創作のうち、各自が設定した表現分野のエチュード(練習曲)と発表する楽曲

・器楽の場合は、楽器 創作の場合は、作品を表現する楽器

③問題集 課題プリントや資料を授業時に配布

3、1年間の授業の流れ(学習計画)

	学習内容	教科書の該当範囲
1学期	オリエンテーション <u>楽典</u> <u>ソルフェージュ</u> <u>音楽史</u> 課題研究 中間発表会に向けての個別指導	1年間の授業の受け方 楽譜の知識と書法(規則)・音名・リズムと拍子・反復記号・音符と休符・音程・音階と調・コードネーム 聴音・視唱 オーケストラと指揮者・古代・ギリシャ・中世・ルネサンス・バロック・古典
2学期	<u>中間発表会</u> 研究・練習成果の中間発表および反省 <u>ソルフェージュ</u> <u>音楽理論</u> <u>音楽史</u> 課題研究 卒業発表に向けての個別指導	聴音・視唱 アレンジと創作 ロマン派・ポピュラー・世界の民族・日本の伝統・日本の郷土芸能・主要音楽家
3学期	<u>卒業発表会</u> 1年間の研究・練習成果の発表および反省 まとめ 1年間の反省	

4、勉強の進め方～学力UPのためのアドバイス～

予習・復習 楽典・音楽理論、音楽史については、復習中心に行いましょう。

ソルフェージュは、授業中の課題をもう一度声に出して歌い、リズムを叩く等復習しましょう。

課題研究は、週1回のレッスンを無駄にしないように、レッスン時はメモを取り、毎日短い時間でも自宅(音楽室も昼休み練習可能)で練習する時間を作って地道に練習を重ねてスキルアップしましょう。

5、ここで評価します！

実技発表会(2回)、提出物(課題プリント、ノート等)、授業中の学習の様子等を総合的に判断して評価します。関心・意欲・態度、発表会に至るまでのプロセスもとても大切です。

R3 芸術科『応用美術』学習シラバス

(3年 3単位)

1、この科目の目標は・・・

- ①自然や自己、社会などを深く見つめて表現を追究する。
- ②美術作品に込められた作者の心情を考え、日本及び世界の国々の美術文化への理解を深める。
- ③自己の良さや価値観を生かした作品作りを通して感性を高め、より深い美術への愛好心を育てる。

2、使用する教材について

- ①教科書・・・美術 表現と技法（日文）
- ②補助教材・・・適宜、プリントや図版を配布
- ③問題集・・・適宜、プリントを配布

3、1年間の授業の流れ（学習計画）

	学習内容	教科書の該当範囲
1 学期	・オリエンテーション ・素描 デッサン ・絵画 風景画(水彩) ・鑑賞 水彩画の作品	「プロローグ」P.2-9 「静物デッサン（鉛筆）」P.32-34 「風景を描く(アクリルを使って)」P.26-31 「水張り(パネル張り)」P.128
2 学期	・デザイン 色彩構成 ・デザイン 木のカタラリー作り ・彫刻 自然物の模刻	「デザイン」P.98-105、「水張り(パネル張り)」P.128 「木彫について」P.88-90 「頭像を作る」P.78-79「静物を描く」P.16-20
3 学期	・自由制作 テーマ「青春」 ・映像メディア 作品集作り	教科書全て

※作品の制作状況により内容等が変更になる場合があります。

4、勉強の進め方 ～学力UPのためのアドバイス～

- ・人の話をよく聞く…重要な話を聞き逃さないように。友達の意見もしっかり聞きましょう。
- ・忘れ物をしない…忘れ物をしてしまうと、その時間制作ができなくなってしまいます。
- ・後片付けをしっかりとる…次に教室や道具を使う人のことを考えましょう。
- ・提出日を守る…評価にも影響しますし、美術に限らず大切なことです。

授業中は自分から積極的に動いて、自分のアイディアをどんどん試してみましょう。何事も、やってみなければ分かりません。授業外では、美術館に行って実際の作品を見たり、作品や作家について調べたりするなどして、美術とふれあう時間を持ってください。また、自分の作品のPRをすることで自分の思想、意見の共有を図り他の思想や意見も吸収し表現の幅を広げていきましょう。

5、ここで評価します！

活動に取り組む意欲や態度、提出物の内容などから総合的に判断して評価します。

- ・授業中の態度…活動への取り組み、忘れ物、準備や片付け、遅刻回数や出席状況など
- ・提出物の内容…提出状況、作品の完成度、目標への到達度、制作中の工夫など

R3 英語科「コミュニケーション英語Ⅰ」 学習シラバス

(1年 3単位)

1. 目標

コミュニケーション英語Ⅰ(コミⅠ)では、英文を読んで海外や日本の文化・歴史を学び、語彙・熟語・文法・読解・表現力などを総合的に向上させること目標としています。教科書で学んだことをもとにして、自分の考えや意見を、簡単な英語で書いたり話したりする力を身につけられるように頑張ります。

2. 使用する教材

教科書： **PROMINENCE** English Communication Ⅰ

3. 英語学習について

① **予習** ワークシートに取り組む！

新しい Lesson や Part に入る前にワークシートを配布します。答えを導くまでの過程が大切なので、自分の力でしっかり取り組みましょう。ワークシートは授業中に答え合わせします。予習の段階ではわからないところを明確にしておき、そこをできる限り、辞書や参考書で調べてみましょう。

☆読むときのポイント☆

教科書の中のイラストや表を参考にしながら、Part 全体を読んで、まず、大まかに意味をつかむことが大切です。英文の主題(トピック)は何か？そのトピックについて何が書かれているか？といったことを意識して読みましょう。

② **授業** 予習でわからなかったところを集中してきく！

何と言っても一番大切なのは授業です。授業ではワークシートや言語活動(アクティビティ)を通して、英文の内容理解を深めます。『読む・聞く・書く・話す』どの活動にも積極的に参加してください。ときには周りの人と協力して「学び合う」ことも大切です。実のある授業をみんなでつくっていきましょう。

③ **復習** 本文を何度も音読しよう！わからないところは調べる・質問する！

習った語彙・熟語を見直し、本文を音読してください。意味のまとまりを意識して、声に出して何度も読みましょう。また、困ったときは積極的に質問しに来てください。お待ちしております！

4. 評価について

コミⅠでは、①授業中の態度、②課題の提出率、③定期テストや校内模試の点数 を総合的に判断し評価します。積極的に学ぼうとする姿勢が特に大切です。それができる人は英語の力も上がりますよ！！

R3 第1学年 英語科より

はじめに

黒磯高校1年生のみなさん、ご入学おめでとうございます！まだまだ緊張の毎日だと思いますが、学校には慣れましたか？今のみなさんは「よし、頑張るぞ！」という希望に燃えていることでしょうか。第1学年英語科スタッフもやる気満々です！これからの1年間、一緒に元気に楽しく英語を勉強していきましょう◎

週末課題について

週末課題として『Wonderland 1』という問題集を使います。指示された範囲の問題を解き、自己添削して提出してください。提出期限は守ること。先に進めたい生徒はどんどん進めて結構です。また、上記の問題集以外にも課題を出すことがあります。一つ一つ確実にこなしていきましょう！

英単語テストについて

単語に関しては、入学前に配布した『DataBase3000』を使って、毎週小テストを行います。「書ける」ことが最終目標です。電車やバスで移動中などのスキマ時間を利用してガンガン覚えましょう！

リスニングについて

水曜日の0限に『Focus on Listening Elementary』という問題集を使います。この問題集を使って、リスニング問題の形式に慣れましょう。

校外検定（GTECや英検）について

現在、英語の資格を取得していることが大変重要になっています。持っていればそれだけで受検できる学校も増えたり、高校時代頑張ったことの1つとしてアピールできます。これからは運転免許のように当たり前に誰もが資格を持っている…そんな時代になりますよ。黒磯高校では、受検機会を設けているので、是非積極的に受検しましょう。

アプリ等について

『きりはらの森』や『語学講座』、『Podcast』のアプリがオススメです。授業でも紹介していきますので、最大限に活用していきましょう。

さいごに

大学入試に必要な語彙は約6000語と言われています。くわえて、文法や語法、熟語など高校英語では覚えることがたくさんあります。英語を学習するのは、自分で計画を作ってそれを着実に実行する強い意志が必要だし、基本的にはつらく、苦しいプロセスかもしれません。実際、言語を習得するのは簡単ではありません。1日1日の積み重ねがみなさんの英語力を形成するのです。まずは英語に対する「興味」を自分自身に持たせる努力をすることが大切です。そのために、黒磯高校のみなさんが興味を持てる内容を提供するよう、英語科スタッフも心がけています。

R3 英語科「英語表現Ⅰ」 学習シラバス

(1年 2単位)

1. 目標

英語表現Ⅰ（英表Ⅰ）では主に文法を学びます。英語の4技能（読む・書く・話す・聞く）習得の基本となるのが、英文法です。しっかりと学んで反復練習しながら定着させていきましょう！「継続は力なり」（Continuity has power.）最終目標は、教科書で学んだ文法や表現を用いて、自分の興味・関心がある事についてまとまりのある英文が書ける力を身につけることです。

2. 使用する教材

教科書：EMPOWER English Expression I ESSENTIAL COURSE

ワークブック：EMPOWER English Expression I ESSENTIAL COURSE Work Book

3. 英語学習について

- ① **予習** **必ずノートを作ろう！演習問題はノートに解くこと。ノート作りは工夫するとよい。**

教科書には、Unit 毎にそれぞれトピックに関するモデル英文が示されています。最終的には自分で同様の英文で表現できることを目標に学習に取り組みましょう。次の見開き1ページの左側のページには解説、右側のページには**演習問題（Drills）**があります。まずは左側の解説をよく読み、それから演習問題をノートに解きます。教科書に直接書き込まないのは、テスト前やその後の学習で何度でも問題を解けるようにしておくためです。ノートに解答するときは、（ ）内だけではなく、文全体を書き写して書くことに慣れてください。また、授業中に先生が言ったことや板書事項が書き込めるように、ノートにあらかじめスペースを作っておくなど、ノート作りを工夫しましょう。

- ② **授業** **予習でわからなかったところを集中してきく！**

教科書『EMPOWER ENGLISH EXPRESSION I ESSENTIAL COURSE』の**Drills**を軸にして授業を進めます。答え合わせをしながら、適宜教師が解説します。予習の段階でわからないところを明確にしてから授業に臨めば、そこを集中してきくことができ、学習内容をかなり理解できるはずです。

- ③ **復習** **反復練習しながら定着させる！わからないところは調べる・質問する！**

ワークブック『EMPOWER ENGLISH EXPRESSION I ESSENTIAL COURSE Workbook』を解き、解答編を使って自己添削しましょう。担当教員の指示に従って提出してください。また、教科書の内容は繰り返し復習し、習った文法や表現を定着させること。わからなかったことを調べるときには、Youtube や Classi の動画などがお薦めです。辞書も活用しましょう。困ったときは積極的に質問しに来てください。お待ちしております！

4. 評価について

英表Ⅰの評価は、①授業中の態度、②課題の取り組み、提出率、③定期テストや校内模試の点数を総合的に判断し評価します。テストで点数が取ればそれでいいわけではない！何事にも全力で！！

R3 英語科 「コミュニケーション英語 II」 シラバス (2年：4単位)

1 目標

コミュニケーション英語 II (コミ II) では、英文を読んで海外や日本の文化・歴史を学び、語彙・熟語・文法・読解・表現力などを総合的に向上させること目標としています。教科書で学んだことをもとにして、自分の考えや意見を、簡単な英語で書いたり話したりする力を身につけられるように頑張りましょう。

2 使用する教材

教科書 : **PROMINENCE English Communication II**

3 学習方法について

① 授業 集中して受ける！

何と言っても一番大切なのは授業です。授業ではワークシートや言語活動（アクティビティ）を通して、英文の内容理解を深めます。答えを導くまでの過程が大切なので、自分の力でしっかり取り組みましょう。『読む・聞く・書く・話す』どの活動にも積極的に参加してください。ときには周りの人と協力して「学び合う」ことも大切です。実のある授業をみんなでつくっていきましょう。

☆読むときのポイント☆

教科書の中のイラストや表を参考にしながら、Part 全体を読んで、まず、大まかに意味をつかむことが大切です。英文の主題（トピック）は何か？そのトピックについて何が書かれているか？といったことを意識して読みましょう。

② 復習 本文を何度も音読しよう！わからないところは調べる・質問する！

習った語彙・熟語を見直し、本文を音読してください。意味のまとまりを意識して、声に出して何度も読みましょう。また、困ったときは積極的に質問しに来てください。お待ちしております！

4 1年間の授業の流れ（予定）

	教科書の該当範囲	学習内容
1 学期	Lesson 10 Save Washington Square Park! 中間テスト Lesson 2 Come and Visit the Park in the Sky! Lesson 3 A Window to Ancient Earth 期末テスト	・ 分詞構文 ・ 現在完了進行形 ・ 関係副詞の非制限用法
2 学期	Lesson 5 Taking the Sting Out of Jellyfish 中間テスト Lesson 6 Does It Spark Joy? Lesson 7 Malala's Fight for Education 期末テスト	・ 完了不定詞 ・ 未来進行形 ・ 前置詞＋関係代名詞
3 学期	Lesson 8 Welcome to the World of Tove Jansson Lesson 9 A Country of Poles and Signs 学年末テスト	・ 先行詞を含んだ関係副詞 ・ 節を指す形式目的語の it

5 評価について

①授業中の参加態度、②課題の提出率、③定期テストや実力テストの点数を総合的に判断し評価します。

R3 英語科 「英語表現 II」 シラバス

(2年：2単位)

1 目標

英語表現 II (英表 II) では主に文法を学びます。英語の 4 技能 (読む・書く・話す・聞く) 習得の基本となるのが、英文法です。しっかりと学んで反復練習しながら定着させていきましょう! 「継続は力なり」(Continuity has power.) 最終目標は、教科書で学んだ文法や表現を用いて、自分の興味・関心がある事についてまとまりのある英文が書ける力を身につけることです。

2 使用する教材

教科書 : EMPOWER ENGLISH EXPRESSION II ESSENTIAL COURSE
ワークブック : EMPOWER ENGLISH EXPRESSION II ESSENTIAL COURSE Workbook
参考書 : 総合英語 FACTBOOK

3 学習方法について

① **予習** 必ずノートを作ろう! 演習問題はノートに解くこと。ノート作りは工夫するとよい。

教科書には、Lesson 毎にそれぞれトピックに関するモデル英文が示されています。最終的には自分で同様の英文で表現できることを目標に学習に取り組みましょう。次の見開き 1 ページの左側のページには解説、右側のページには**演習問題 (Practice)** があります。まずは左側の解説をよく読み、それから演習問題をノートに解きます。教科書に直接書き込まないのは、テスト前やその後の学習で何度でも問題を解けるようにしておくためです。ノートに解答するときは、() 内だけではなく、文全体を書き写して書くことに慣れてください。また、授業中に先生が言ったことや板書事項が書き込めるように、ノートにあらかじめスペースを作っておくなど、ノート作りを工夫しましょう。

② **授業** 予習でわからなかったところを集中してきく!

教科書『EMPOWER ENGLISH EXPRESSION II ESSENTIAL COURSE』の Practice を軸にして授業を進めます。答え合わせをしながら、適宜教師が解説します。予習の段階でわからないところを明確にしてから授業に臨めば、そこを集中してきくことができ、学習内容をかなり理解できるはずです。

③ **復習** 反復練習しながら定着させる! わからないところは調べる・質問する!

ワークブック『EMPOWER ENGLISH EXPRESSION II ESSENTIAL COURSE Workbook』を解き、解答編を使って自己添削しましょう。担当教員の指示に従って提出してください。また、教科書の内容は繰り返し復習し、習った文法や表現を定着させること。わからなかったことを調べるときには、参考書『総合英語 FACTBOOK』や辞書が役立ちます。参考書には、教科書より詳しく文法について書かれているのでどんどん活用しましょう。困ったときは積極的に質問しに来てください。お待ちしております!

4 1 年間の授業の流れ (予定)

	教科書の該当範囲	学習内容
1 学期	Unit 10・11 Lesson 1・2	・関係詞・仮定法 ・文の構造・知覚動詞/使役動詞
	中間テスト	
	Lesson 3~6 期末テスト	・形式主語の it・無生物主語・現在形・過去形
2 学期	Lesson 7~10	・未来を表す表現・助動詞・受動態・不定詞・動名詞
	中間テスト	
	Lesson 11~14 期末テスト	・名詞節・名詞を修飾する語句・関係代名詞・関係副詞 ・前置詞と関係代名詞
3 学期	Lesson 15~18 学年末テスト	・不定詞・分詞構文・副詞節・否定語・比較

5 評価について

①授業中の参加態度、②課題の提出率、③定期テストや実力テストの点数を総合的に判断し評価します。

R3 英語科「コミュニケーション英語Ⅲ」 学習シラバス

(3年 4単位)

1. 目標

長文を読みながら、語彙・熟語・文法・読解力・表現力などを総合的に学習し、また海外や日本の文化と歴史などを学んでいく教科です。「速く、たくさん」読むことを意識しよう。

2. 使用する教材

教科書：WORLD TREK English Communication Ⅲ

総合問題集：CROSSBEAM S 2 Standard2 英語総合問題集 標準偏2

単語帳：Stock 3000

リスニング：Listening Laboratory standard β

3. 英語学習について

- ① 授業が大切! プリントの問題を解いたり、先生の質問に答えたり、ペアやグループでの活動に取り組んだり…。とにかく自分から積極的に学ぼうとする姿勢が大切です。「なぜ?」「どうやって?」「自分だったら…」と頭を働かせながら英語に向かおう。授業中に与えられる「英語力UP」のヒントを逃さない!
- ② 黙読&音読をしよう! 英文を読む際には、意味のまとまりを意識しながら、「いつ、どこで、誰が、何をどのように、なぜ、するのか?」と予測を立てながら読み進めていきましょう。単語にこだわり過ぎず、諦めずに前後の文脈から意味を推測しましょう。
- ③ 毎日英語にふれよう! 0限や週末課題など、与えられたチャンスをいかしましょう。単語テストや文法テストは一夜漬けでは意味がありません。コツコツ勉強して本番に臨んでください。リスニングや英作文などにもこれまで以上に積極的に取り組んで、実践力を身につけましょう。
- ④ 検定試験に挑戦しよう! 今年度もGTECと英検が年間予定に入っています。ただし、3年生の受験は任意となっています。やる気のある生徒、実力を試したい生徒、受験要件等で必要な生徒は、年間予定を見て受験することをお勧めします。

4. 評価について

コミⅢでは、①授業中の態度、②課題の提出率、③定期テストや校内模試の点数を総合的に判断し評価します。テストで点数が取ればそれでいいわけではない! 何事にも全力で!!

R3 英語科「英語表現Ⅱ」 学習シラバス

(3年 文型：3単位 理型：2単位)

1. 目標

英表Ⅱでは主に文法や英作文を学びます。文法は高校英語の基礎として大変重要です。1, 2年で学んだ文法(ルール)を用いて演習を行います。論理的な文章の組み立て方を身につけ、表現する力を身につけましょう。

2. 使用する教材

教科書：EMPOWER English Expression II ESSENTIAL COURSE

ワークブック：EMPOWER English Expression II ESSENTIAL COURSE Work Book

単語帳：Stock 3000

英作文：5-Minute Test プロダクティブ英作文

3. 英語学習について

①ノートを作る！教科書には答えを直接書き込まない！テスト前やその後の学習で何度でも問題を解けるようにしておきましょう。また、授業中に先生が言ったことや板書事項が書き込めるスペースを上手く作っておこう。

②予習をする 必ず問題は解こう！左側のページにある例文と解説をよく読みましょう。その上で、理解できたかどうかを右側のページにある Practice で確かめてみてください。わからないこと、疑問に思ったことは『EMPOWER 総合英語』を活用しよう。英文法の辞典のようなもの。手と頭を使って予習することが大切です。

③復習をする 授業の復習として、EMPOWER のワークブックやネクステの該当箇所の問題を解いてみよう。理解した文法の知識を定着させるためには、演習が必須ですよ。

④表現活動に本気で取り組む 授業では英作文やスピーキングなど、表現活動をたくさん行います。自分のことや考えたこと、感じたことを英語で表現することに積極的に挑戦してください。表現の幅を広げるために、5-Minute Test も適宜行います。語彙・表現はとにかく使って覚える！

4. 評価について

英表Ⅱの評価は、①授業中の態度、②課題の取り組み、提出率、③定期テストや校内模試の点数を総合的に判断し評価します。テストで点数が取ればそれでいいわけではない！何事にも全力で！！

R3 英語科 総合英語 学習シラバス

(3年 2単位)

1. 目標

受験英語だけではなく、さまざまな英語外部試験の問題に触れて一人一人の英語力の向上を目指す。

2. 使用する教材

教科書： 英語4技能型テストへのアプローチ②

3. 英語学習について

- ① 授業が大切！ 問題を解いたり、先生の質問に答えたり、ペアやグループでの活動に取り組んだり……。とにかく自分から積極的に学ぼうとする姿勢が大切です。「なぜ？」「どうやって？」「自分だったら…」と頭を働かせながら英語に向かおう。授業中に与えられる「英語力 UP」のヒントを逃さない！
- ② 黙読＆音読をしよう！（Reading） 英文を読む際には、意味のまとまりを意識しながら、「いつ、どこで、誰が、何をどのように、なぜ、するのか？」と予測を立てながら読み進めていきましょう。単語にこだわり過ぎず、諦めずに前後の文脈から意味を推測しましょう。
- ③ 毎日英語にふれよう！（Listening & Reading） 英語を科目としてみるのではなく、一つの言語として見ましょう。新しい言語を身につけるには授業だけでは到底身につけません。お家にいるときも英語に触れましょう。（例、NETFLIXにあるドラマ、映画を英語でみる、英語で漫画を読む、英語で1－3行の日記をつけるなど）。リスニングや英作文などにもこれまで以上に積極的に取り組んで、実践力を身につけましょう。
- ④ 検定試験に挑戦しよう！ 今年度もGTECと英検が年間予定に入っています。ただし、3年生の受験は任意となっています。やる気のある生徒、実力を試したい生徒、受験要件等で必要な生徒は、年間予定を見て受験することをお勧めします。

4. 評価について

総合英語では、①授業中の態度、②定期テストの点数などを総合的に判断し評価します。テストで点数が取ればそれでいいわけではない！何事にも全力で！

R 3 年 家庭科 『家庭基礎』 学習シラバス

(1 年 2 単位)

1 この科目の目標は

人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得します。また、家族や社会との共生を目指し、生活の充実向上を図る能力を身につけます。

2 使用する教材について

- ① 教科書 家庭基礎 (第一学習社)
- ② 補助教材 わくわくクッキング (栃木県高等学校教育研究会 家庭部会編)

3 1 年間の授業の流れ (学習計画)

	学習内容	教科書の該当範囲
1 学期	①被服の役割を考え、被服材料の特徴を理解し、品質表示の意味を理解する。 ②高校生の食生活の課題と食品の栄養的な特質について学ぶ。 ③各ライフステージの特徴と課題を理解し、家族・家庭に関する基礎的な法律を学ぶ。 ④子どもの育つ力を理解し、親としての触れ合い方、保育環境について学ぶ。	第 6 章 装う 第 5 章 食べる 第 1 章 これからの生き方と家族 第 3・4 章の高齢社会を生きる、共生と関連 第 2 章 次世代をはぐくむ
2 学期	①基本的な調理技術を実習を通して学び、日常食を作れるようにする。 ②契約トラブルと消費者をめぐる問題について考える。 ③エコグッズの製作。	第 5 章 食べる 「わくわくクッキング」による日常食の実習 第 8 章 経済生活を営む
3 学期	①食事摂取量や食品群別摂取量の目安を知り、健康な食生活を考える。 ②平面図を理解し、高校卒業後の自立した生活を考える。 ③キャリアの視点から生涯の生活設計に必要な要素をまとめ、高校卒業後の生活設計をする。	第 5 章 食べる 第 7 章 住まう 第 9 章 生活をデザインしよう

4 勉強の進め方 ～学力 UP のためのアドバイス～

- ①授業中にやるべきことをしっかりやるのが大切です。そうすればファイル・作品など提出日を守って提出ができます。
- ②日頃から重要な点がわかるプリントのまとめ方をし、期末テスト前は特に時間を作って知識の定着を図ってほしい。

5 ここで評価します！

各学期の期末テスト、ファイルや作品の提出、作品の評価、実習中の取り組み方。

R 3 年 家庭科 『フードデザイン』学習シラバス

(3年 3単位)

1 この科目の目標は

日常の食事の役割を意識し、栄養・食品・調理・食品衛生などに関する知識と技術を習得します。また、食生活の文化に関心を持ち、充実した食生活を営む態度を身につけます。

2 使用する教材について教科書

フードデザイン 新訂版 (実教出版)

3 1年間の授業の流れ(学習計画)

	学習内容	教科書の該当範囲
1 学期	①調理操作の基本を理解し、調理技術の定着を図る。 ②春の日常食について、栄養・食品・献立・調理法を季節との関連に関心を持ちながら学ぶ。 ③実習を通して、先を見通した調理手順を考えて、また、他との協調のもとにどう活動すべきか考える。 ④夏の日常食について、栄養・食品・献立・調理法を季節との関連に関心を持ちながら学ぶ。	第4章 調理の基本 第3章 食品の特徴 (春の日常食) (夏の日常食) 第2章 栄養素のはたらきと食事計画
2 学期	①本膳料理・懐石料理・会席料理など和食の配膳や食事マナーを学ぶ。 ②西洋料理の配膳や食事マナーを学ぶ。 ③中国料理の特徴を学ぶ。 ④日本の伝統的郷土食と食文化を知る。	第5章 料理様式とテーブルコーディネート (秋の日常食) (冬の日常食)
3 学期	①もてなしの心、感謝の意を食を通して表現する。	(供応食の実習)

4 勉強の進め方 ～学力 UP のためのアドバイス～

①調理実習に積極的に参加し、調理の基本技術を身につける。また、調理理論など調理の基礎知識をしっかり理解してから実習に臨んでほしい。

②重要な点ができるプリントのまとめ方をし、小テスト前は特に時間を作って知識の定着を図ってほしい。

5 ここで評価します！

各学期の小テスト、実技テスト、実習中の取り組み方

R 3 年 家庭科 『子どもの発達と保育』学習シラバス

(3年 3単位)

1 この科目の目標は

乳幼児の発達の特徴、乳幼児の生活と保育などに関する知識を身につけ、保育の必要性和意義を理解する。また、乳幼児の健全な成長をめざした適切なかかわり方について考え、児童文化財の活用技術を高める。

2 使用する教材について

教科書 子どもの発達と保育 (教育図書)

3 1年間の授業の流れ(学習計画)

	学習内容	教科書の該当範囲
1 学期	①胎児期・新生児期・乳幼児期の発達の特徴を知る。 ②乳幼児期が人格形成上重要な時期であることを理解し、保育者の働きについて考える。 ③実習を通して基本的な保育技術を学ぶ。 ④こどもの病気を知り、基本的な看護方法を学ぶ。	第2章 子どもの発達過程 乳幼児期のからだの発育 乳幼児期の感覚・運動機能の発達 人間関係の発達 心の発達 第3章 子どもの生活 子どもの遊びと生活 子どもの健康管理
2 学期	①保育の場としてのそれぞれの特徴や役割を学ぶ。 ②幼稚園と保育所、その他の施設について理解する。 ③母乳栄養や離乳食の重要性を理解し、乳児や幼児の栄養と食生活のあり方について考える。 ④遊びの援助のしかたを学び、手作りおもちゃの製作を通して子どもとのかかわり方を考える。	第3章 子どもの生活 子どもの衣服 子どもの食事 子どもの遊びと児童文化財
3 学期	①子どもの福祉と子育て支援について学ぶ。	第5章 子どもの福祉と子育て支援 子どもの福祉

4 勉強の進め方 ～学力UPのためのアドバイス～

- ①人前での実技発表や意見発表など、保育技術向上のために積極的に活動することが大切です。
- ②日頃から重要な点がわかるプリントのまとめ方をし、小テスト前は特に時間を作って知識の定着を図ってほしい。

5 ここで評価します！

各学期の小テスト、作品の提出と評価、実習中の取り組み方

R 3 情報科『情報の科学』学習シラバス

(2単位：1年 2単位)

1 この科目の目標

「情報の科学」は、情報の考え方の基礎となる科学や技術を学び、問題を解決する能力を身につけていく科目です。コンピュータのしくみや特徴、コンピュータを効果的に活用して情報を処理するための方法や工夫、デジタル技術の基礎となる情報のあらわし方、音や画像などの表現方法について学びます。また、実際の社会で使われるデータベースやシミュレーションの考え方についても、実習を通じて学びます。

2 使用する教材について

- ①教科書 「最新 情報の科学」(実教出版)
- ②補助教材 「最新 情報の科学 学習ノート」(実教出版)

3 1年間の授業の流れ(学習計画)

	学習内容		教科書範囲
1 学 期	第1章 情報とコンピュータ 1. 情報の表し方 2. コンピュータでのデジタル表現	基本操作練習 第3章 問題解決のためのコンピュータ活用 1. 問題解決 【期末試験】筆記試験を行います。	P.10 ～P.42 P.68 ～P.77
2 学 期	3. コンピュータの仕組み 第2章 ネットワークの仕組みと情報システム 1. ネットワークの仕組み 2. 情報システムと情報セキュリティ 第4章 ネットワークとデータベースの活用 1. ネットワークの活用 2. データベース	2. アルゴリズム 3. モデル化とシミュレーション 【期末試験】筆記試験を行います。	P.43 ～P.66 P.110 ～P.134 P.78 ～P.108
3 学 期	第5章 情報技術と社会 1. 情報化による生活の変化 2. 情報技術による社会の発展	3. モデル化とシミュレーション 【学年末試験】筆記試験を行います。	P.136 ～P.157 P.92 ～P.108

4 勉強の進め方 ～学力UPのためのアドバイス～

- ・丸暗記ではなく、意味を理解することに努める。
- ・学習内容やコンピュータの操作方法が分からなければ、早めに質問し、理解に努める。
- ・実習では記載されたプログラムを単に入力するだけではなく、プログラムの論理的な意味について理解する。

5 ここで評価します！

- ・定期試験を中心に、提出物の状況および学習や実習への取り組み方を総合的に評価します。

R 3 情報科『応用情報処理』学習シラバス

(3 年文系選択 3 単位 学校設定科目)

1 この科目の目標は・・・

社会に出て、すぐに役に立つパソコンを用いた情報処理を取り扱います。ビジネス文書実務検定 3 級から 2 級レベルの実習を行います。また、Excel や PowerPoint の実習を行います。授業は全て情報室において行います。

2 使用する教材について

- ①教科書 準教科書として、「60 時間でエキスパート Word&Excel 2007/2010」(実教出版)
- ②補助教材 配布プリント
- ③問題集 「全商ビジネス文書実務検定模擬試験問題集 基礎から 3 級」(実教出版)

3 1 年間の授業の流れ (学習計画)

	学習内容	教科書の該当範囲
1 学期	・ビジネス文書実務検定 3 級レベルの練習	テキストの word 演習
2 学期	・ビジネス文書実務検定 2 級レベルの練習 ・Excel 演習 (関数の活用など)	テキストの word と excel の演習
3 学期	・word と Excel の演習 (2 学期の続き) ・powerpoint の使い方	

4 勉強の進め方 ～学力 UP のためのアドバイス～

- ・テキストを元に実習にしっかりと取り組めば着実に実践的な力が身に付いていきます。
- ・分からない点があれば、遠慮なく指導教員に質問してください。

5 ここで評価します！

学期末に実技テスト(一部、筆記問題も含む)を行います。また、学習や PC 実習への取り組み方を加え、総合的に評価します。